

構造設計標準仕様

※修正箇所は下線を引くこと
適用は 印を記入する。

1. 建築物の構造内容

- (1) 建築場所 うるま市赤道972番51、929番11
 (2) 工事種別 新築 増築 増改築 改築
 (3) 構造種別 鉄筋コンクリート造
木造 (W) 補強コンクリートブロック造 (CB) 鉄骨造 (S)
鉄筋コンクリート造 (RC) 壁式鉄筋コンクリート造 (WRC)
鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC) 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造 (WPRC)
プレキャスト鉄筋コンクリート造 (PRC)
 (4) 階数 棟 地下階 地上 6 階 塔屋 階
 棟 地下階 地上 階 塔屋 階
 (5) 主要用途 共同住宅
 (6) 屋上付属物
高架水槽 キュービクル kN 広告塔 煙突
 (7) 特別な荷重
エレベータ 人乗 (マシルームレス) ロープ式 油圧式 リフト kN ホイスト kN
倉庫積載床用 kN 消火水槽 kN
 (8) 付帯工事
門扉 擁壁 駐輪場 機械式駐車場
 (9) 増築計画 有 () 無
 (10) 構造計算ルート X方向ルート (3) Y方向ルート (3)

2. 使用構造材料一覧表

(1) コンクリート

適用箇所	種類	設計基準強度 F _c =N/mm ²	品質管理強度 F _r =N/mm ²	スランプ cm	備考
柱コンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> 21	-	15	
大走りコンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> 21	-	15	
基礎・地中梁・土間コンクリート	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 24 <input type="checkbox"/> 27 <input checked="" type="checkbox"/> 30 <input type="checkbox"/> 33	30-3-33	15	水セメント比55%以下
1F廊下~2F廊下床	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 24 <input type="checkbox"/> 27 <input checked="" type="checkbox"/> 30 <input type="checkbox"/> 33	33-3-36	15	水セメント比55%以下
2F廊下~3F廊下床	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 24 <input type="checkbox"/> 27 <input checked="" type="checkbox"/> 30 <input type="checkbox"/> 33	30-3-33	15	水セメント比55%以下
3F廊下~4F廊下床	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 24 <input type="checkbox"/> 27 <input checked="" type="checkbox"/> 30 <input type="checkbox"/> 33	27-3-33	15	水セメント比55%以下
給排水管の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 砂 <input checked="" type="checkbox"/> 山砂 <input type="checkbox"/> 人工				
遮音材の種類	<input type="checkbox"/> 砂利 <input checked="" type="checkbox"/> 砕石 <input type="checkbox"/> 人工				
水の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 水道水 <input type="checkbox"/> 地下水 <input type="checkbox"/> 工業用水				
塗料の種類	<input checked="" type="checkbox"/> A E 遮水剤 <input type="checkbox"/> 高性能A E 遮水剤 <input type="checkbox"/> コンクリート防染剤 (MR-1900同等品)				
呼び強度を確保する材料	<input checked="" type="checkbox"/> 28日 <input type="checkbox"/> 56日				

※導中コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、品質管理強度≧3N/mm²とする。※単位水量は、185kg/m³以下とする。

(2) コンクリートブロック (C B)

A種 B種 C種 厚100、120、150、190、

(3) 鉄筋

種類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	<input checked="" type="checkbox"/> SD295A	D10~D16	溶接一般
	<input type="checkbox"/> SD295B		
	<input checked="" type="checkbox"/> SD345	D19~D25	溶接一般
	<input checked="" type="checkbox"/> SD390	D29~	溶接一般
高強度せん断補強筋	<input checked="" type="checkbox"/> KN785 (SPR785)	K13 (T13)	
丸鋼	<input type="checkbox"/> SR235		
溶接金網 (JIS 6 3551)	<input type="checkbox"/> 格子		

(4) 鉄骨

種類	使用箇所	現場溶接	備考
<input type="checkbox"/> SS400 <input type="checkbox"/> SM400 <input type="checkbox"/> SN400A <input type="checkbox"/> SN400B		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 0.9F <input type="checkbox"/> 1.0F
<input type="checkbox"/> SN490B <input type="checkbox"/> STKR400		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 0.9F <input type="checkbox"/> 1.0F
<input type="checkbox"/> BCR295 <input type="checkbox"/> BCP235		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 0.9F <input type="checkbox"/> 1.0F
<input type="checkbox"/> SM400C <input type="checkbox"/> SNR400B <input type="checkbox"/> SNR400		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 0.9F <input type="checkbox"/> 1.0F
<input type="checkbox"/> SSC400			

(5) ボルト

- 高力ボルト
普通: F8T S10T 認定品 (M16、M20、M22、M24)
中ボルト
M
アンカーボルト
SNR400 M L = mm ナット (シングル、ダブル)
SNR400 M L = mm ナット (シングル、ダブル)
頭付スタッドボルト
φ = mm 使用箇所 (柱 大梁 小梁)
φ = mm 使用箇所 (柱 大梁 小梁)

(6) 屋根、床、壁

- ALC板 壁厚 スライド構法 ボルト止め構法 ロッキング構法
折板 H = 厚
デッキプレート 型式 厚
嵌め込み式瓦棒葺きキヤップ工法2点固定 材質: フッ素ガルバリウム鋼板 t=0.4mm
ステンレスシーム溶接工法 (H35、@265) 材質: フライト系ステンレス t=0.4mm

普通型枠

3. 地盤

(1) 地盤調査資料と調査計画

調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画
ボーリング調査	有り		静的貫入試験			標準貫入試験		
水平地盤反力係数の測定			土質調査			物理探査		
試験掘 (支持層の確認)			平板載荷試験			液化化判定		
スウェーデン式サウンディング			現場透水試験			P S 探層		

注) 上記表中の資料が有るもの、調査計画が有るものに○を記入する。

(2) ボーリング標準貫入値、土質構成 (基礎・杭の位置を明記すること) ※別紙による

深度 (m)	土質	N値	標準貫入試験							備考
			0	10	20	30	40	50	60	
0	砂									○調査地帯
1										○位置図
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										

注) 地盤調査及び試験杭の結果より、杭長さ、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

S-04-05 による

4. 地業工事

- (1) 直接基礎 ベタ基礎 布基礎 独立基礎 試験掘 有 無
 深さG L - m 支持層-鳥尻泥岩 長期許容支持力 kN/m² 載荷試験 有 無

(2) 杭基礎 支持層

杭種	材料	施工法	備考
<input type="checkbox"/> RC <input checked="" type="checkbox"/> PRC	PRC <input type="checkbox"/> I種 <input type="checkbox"/> II種 <input type="checkbox"/> III種 <input type="checkbox"/> IV種	<input type="checkbox"/> 打ち込み(リフト・ポンプ打撃工法)	
<input checked="" type="checkbox"/> PHC <input type="checkbox"/> 鋼	PHC <input checked="" type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種	<input type="checkbox"/> 埋込み(セメントミルク工法)	
<input type="checkbox"/> 鋼管 <input type="checkbox"/> 厚板杭 <input type="checkbox"/> SC杭	鋼材 <input type="checkbox"/> STK400 <input type="checkbox"/> STK490	<input type="checkbox"/> HVDI-工法 (認定工法)	
<input type="checkbox"/> 鋼所打ちコンクリート杭	コンクリート F _c N/mm ²	<input type="checkbox"/> オールケーシング <input type="checkbox"/> 臨臨杭	
	スランプ	<input type="checkbox"/> リパズサーキュレーション	
	セメント量 kg/m ³	<input type="checkbox"/> アースドリル <input type="checkbox"/> ミニアース	
	鉄筋 主筋 SD	<input type="checkbox"/> BH <input type="checkbox"/> 深礎 <input type="checkbox"/> 手掘 <input type="checkbox"/> 機械掘	第 年 月 日
	HOOP SD		

杭仕様 施工計画承認 杭施工結果報告書

試験杭 (有、無) (打ち込み・載荷・孔壁測定) 本

杭径 (mm)	設計支持力 (kN)	杭の先端の深さ (m)	本数	特記事項

(3) 地盤改良工事

- 浅層地盤改良工法
深層混合処理工法

5. 鉄筋コンクリート工事 (施工方法等計画書)

本標準仕様書及び鉄筋コンクリート構造配筋標準図はコンクリートの設計基準強度 (F_c) が21N/mm²以上、かつ、36N/mm²以下に適用する。

(1) コンクリート

- コンクリートは JIS 認定工場の製品とし、施工に関しては、標準図に記載されている事項を除き JASS5 による。
 耐久設計基準強度 F_{cd} 一般 標準 長期
 セメントは、JIS R5210 の普通ポルトランドセメントを標準とする。
 調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
 フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で (財) 国土開発技術研究センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真 (カラー) を保管し承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。【試験回数は、公共建築工事標準仕様書 (平成31年度版) による。】
 構造体コンクリートについて現場の圧縮強度試験供試体 (JASS5T-603) は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は、打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。また、打ち込み量が150 m³をこえる場合は150 m³ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当たり6本以上とし、そのうち4週間に3本を用いる。
 ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さはコンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送機または、同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃以下の場合には90分以内、25℃を超える場合は60分以内とする。
 締固めは、コック型振動機・型枠振動機または突き棒を用いて行い、鉄筋および埋設物などの周辺や型枠の隅々までコンクリートが充填され、密実なコンクリートが得られるように行う。
 コンクリートの打継ぎ面は、レイタンス、脆弱なコンクリート、ゴミなどを取り除き、新たに打ち込むコンクリートと一体となるように処置する。
 打ち込み後のコンクリートは、透水性の小さいせき板による被覆、養生マットまたは水密シートによる被覆、散水・噴霧、膜養生剤の塗布などにより潤滑養生を行う。(期間は、JASS5の表0.1を参照)

(2) 鉄筋

- 鉄筋は JIS G3112 の規格品を標準とする。施工は、標準図に記載されている事項を除き、JASS5 による。
 高強度せん断補強筋は、JIS G3137 に規定されるD種1号適合品とする。
 鉄筋の加工寸法、形状、設計かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」による。
 D19未満は、すべて重ね継手とする。継手 (D19以上) をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
 ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと (200箇所を越えるときは、200箇所ごと) に1回行い、1回の試験は5本以上とする。外観検査 有 無 引張試験 有 無 超音波探傷試験 有 無
 柱の帯筋 (HOOP) の加工方法は、H型 (タガ型) W型 (溶接型) S型 (スパイラル型) とする。
 コンクリート及び鉄筋の試験は「建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱要綱」第4条の試験機関で行うこと。
 試験機関名 沖縄県建設技術センター (都知事登録 号)
 代行業者名
 代行業者とは、試験・検査に伴う業務を代行するものを言う。

(3) 型枠

- 材料 合板厚 12mmを標準とする。
 施工 JASS5による。
 型枠存置期間

種類	せき板				支柱			
	基礎、はり側、柱、壁		スラブ下、はり下		スラブ下		はり下	
セメントの種類	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント
	高炉セメントA種	シリカセメントA種	高炉セメントA種	シリカセメントA種	高炉セメントA種	シリカセメントA種	高炉セメントA種	シリカセメントA種
存在期間平均気温	15℃以上	2	3	4	6	8	17	28
コンクリート	5℃~15℃	3	5	6	10	12	25	28
1	5℃未満	5	8	10	16	15	28	28
コンクリートの圧縮強度	5.0N/mm ²		設計基準強度の50%		設計基準強度の			
					85%		100%	

- 注) 1 片持ばり、庇、スパン9.0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。(養生期間は28日)
 注) 2 大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
 注) 3 支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
 注) 4 盛りかえ後の支柱顶部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
 注) 5 支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
 注) 6 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6. 鉄骨工事 (施工方法等計画書)

- (1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
 日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
 社) 日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」
 鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」
 (2) 工事監理者の承認を必要とするもの
 製作工場 製作要領書 工作図 施工計画書
 認定または登録工場 (大臣認定 グレード以上 都登録 T1 T2 T3ランク)
 材料規格証明書または試験成績書
 鋼材 高力ボルト 特殊ボルト 頭付スタッド
 社内検査表
 (3) 工事監理者が行う検査項目 (印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること)
 現寸検査 組立・開先検査 製品検査
 建方検査
 (4) 接合部の溶接は下記によること
 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱 (建築構造設計指針第12章)
 日本建築学会「溶接工作規準、同解説 I、II、III、IV、V、VI、VII、VIII」
 日本建築学会「鉄骨工事技術指針 工事現場施工編」
 (5) 接合部の検査
 溶接部の検査 (検査結果は後日工事監理者に報告すること)

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数				備考
		社内	第三者	工事監理者		
<input type="checkbox"/> 完全溶込み溶接部 (突合せ溶接)	外観検査 (※)	% 値	% 値	% 値	% 値	※平成12年建設省告示第1464号第二号による (目録及び計測)
	超音波探傷検査	% 値	% 値	% 値	% 値	※試験箇所数は、JASS6に準ずる。
	内観検査 (注)	% 値	% 値	% 値	% 値	
	マクロ試験・その他	% 値	% 値	% 値	% 値	
	外観検査 (※)	% 値	% 値	% 値	% 値	

第三者検査機関名 (都知事登録 号)
 第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。
 (注) 東京都の要綱に基づき、必要となる建築物の場合に実施する。

注) 現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと
 注2) 知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対応策を建築主事等に報告すること

- 内観検査 硬さ試験 示温塗料塗布
 高力ボルトは「JIS B1186の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを産金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤さび状態であること。ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あさが50S以上である場合は、赤さびは発生しないまでよい。
 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく整備されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは一次、二次締めとする。締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行なわれているか検査する。

(6) 防錆塗装

- 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めのペイントは、 JIS K5621、 JIS K5625、 を使用して、4つ星2回塗りを標準とするが、実状に応じて決定すること。
 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調査は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗り

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

※修正箇所は下線を引くこと

1. 一般事項

- 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- 記号
 d...異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D...部材の成 R...直径
 @...間隔 r...半径 e...中心線 l...部材の内寸法距離 h...部材間の内法高さ
 ST...あばら筋 HOOP...帯筋 S.HOOP...補強帯筋 φ...直径又は丸鋼

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°
図			
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(※4d以上)	8d以上(※4d以上)

折曲げ内法寸法 R は、SR235~SD345の径16およびD16以下は3d以上、SR295~SD345のD19~D38は4d以上、SD390のD19~D38は5d以上とする。

※片持スラブ先端、壁筋の自由端部の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合には、余長は4d以上とする。

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内径の寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235, SR295 SD295A・B SD345	16φ以下 D16 19φ D19以上	3d以上 4d以上
	上記以外の鉄筋	SD295A・B SD345 SD390	D16以下 D19~D25 D29~D41	4d以上 6d以上 6d以上

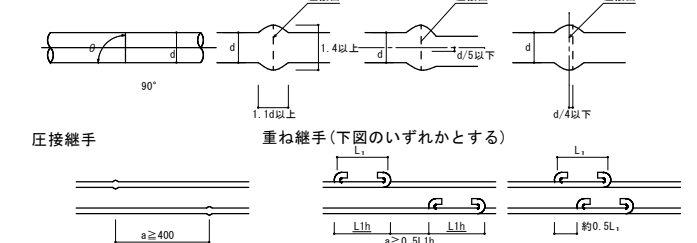
(3) 鉄筋の定着及び重ね継手長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm ²)	定着の長さ		特別の定着及び重ね継手の長さ(L ₁)
		一般(L ₂)	(L _m)	
SD295A SD295B	30~36	30d または 20d ⁺ 付き	15d	35d または 25d ⁺ 付き
	24, 27	30d または 20d ⁺ 付き		
SD345	18以下	40d または 30d ⁺ 付き	20d	45d または 35d ⁺ 付き
	30~36	30d または 20d ⁺ 付き		
	24, 27	35d または 25d ⁺ 付き		
	18以下	40d または 30d ⁺ 付き		
SD390	30~36	35d または 25d ⁺ 付き	20d	50d または 35d ⁺ 付き
	24, 27	40d または 30d ⁺ 付き		

【注】許容応力度計算、許容応力度等計算、その他構造計算を要さない小規模建築物の場合は、梁主筋の柱への定着は40dとする

【注】許容応力度計算、許容応力度等計算、その他構造計算を要さない小規模建築物の場合は、梁主筋の柱への定着は40dとする

- 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
- 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
- D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
- 鉄筋径の差が5mmを超える場合は、圧接としてはならない



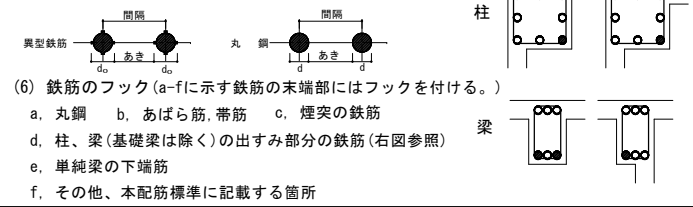
(4) かぶり厚さ(単位:mm)

部 位	設計かぶり厚さ(mm)	最小かぶり厚さ(mm)	
土に接しない部分	屋根スラブ	30	20
	床スラブ	40 ⁽¹⁾	30(20)
	非耐力壁	40	30
土に接する部分	柱	50 ⁽²⁾	40 ⁽¹⁾ (30)
	柱・はり・スラブ・耐力壁	50 ⁽²⁾	40
	基礎・擁壁	50	40 ⁽⁴⁾

(注) (1) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて30mmとすることができる。
 (2) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
 (3) コンクリートの品質および施工方法に応じ、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
 (4) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
 (5) ()内は仕上げがある場合。
 (6) 土に接する部分のかぶりは増加する厚さを打ち増しとする。

(5) 鉄筋のあき

丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上
 粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上
 隣り合う鉄筋の径の平均の1.5倍

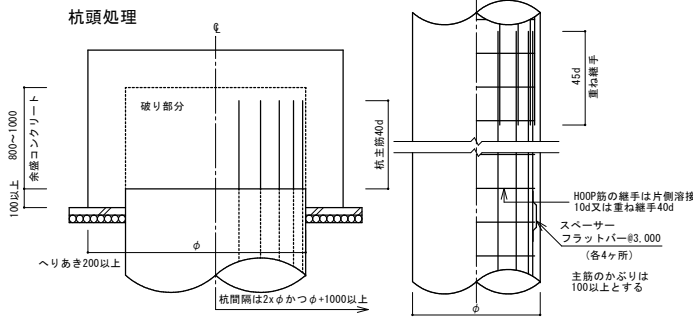


3. 杭 (地震力等の水平力を考慮して、別途検討すること。)

(1) PRC杭、又はPHC杭の全てに補強を行う

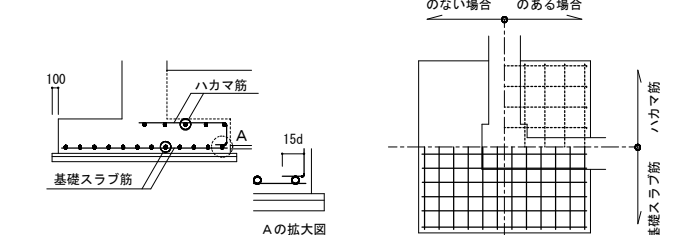
所定の場所に止まった場合	所定より低く止まった場合
杭 径	300φ、350φ、400φ、450φ、500φ、600φ
補強筋	6-D13、8-D13、10-D13、8-D16、10-D16
H O O P	D10-@150

(2) 現場打ちコンクリート杭

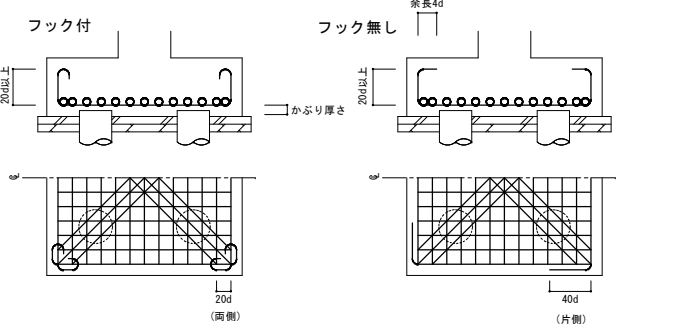


4. 基礎

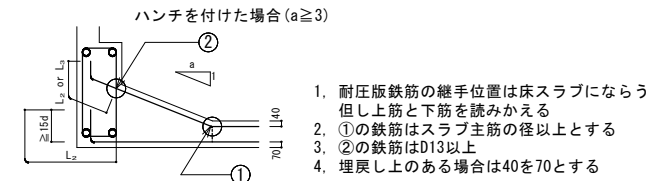
(1) 独立基礎



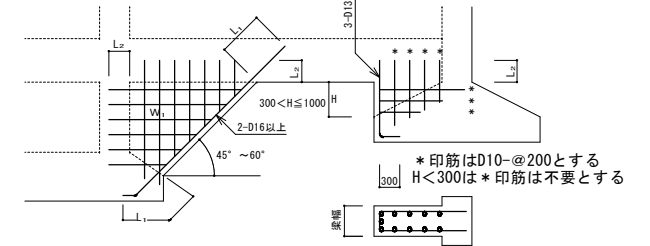
(2) 杭基礎



(3) べた基礎



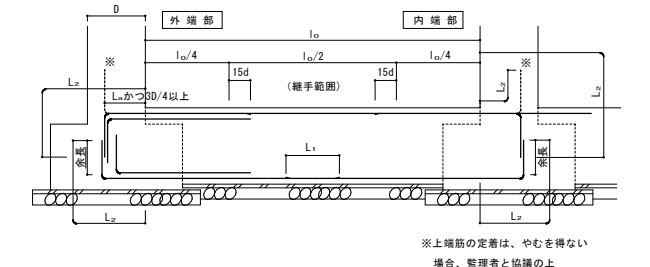
(4) 基礎接合部の補強



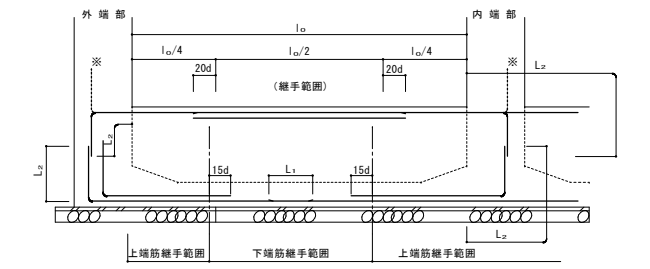
W₁の三角壁厚さは、200以上又は地中梁幅とし、配筋は同厚の壁リストにならう

5. 地中梁

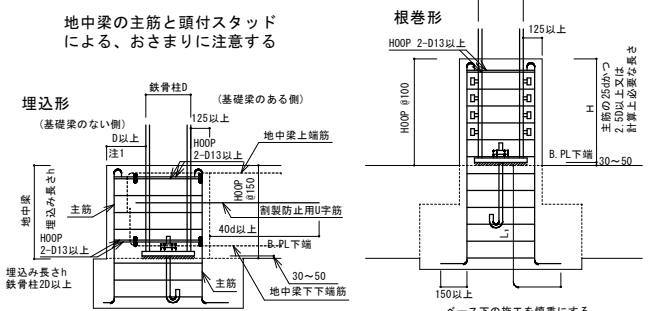
(1) 独立基礎、杭基礎の場合(定着、継手)



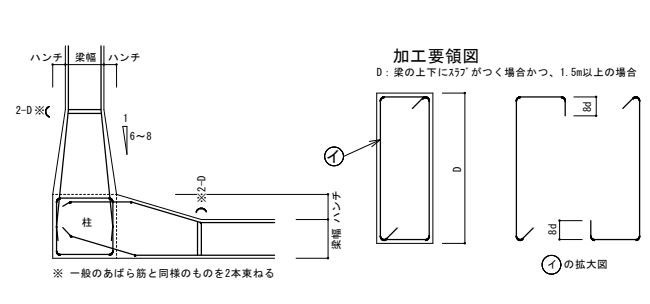
(2) 布基礎、べた基礎の場合(定着、継手)



(3) 小規模鉄骨構造の柱脚固定の配筋

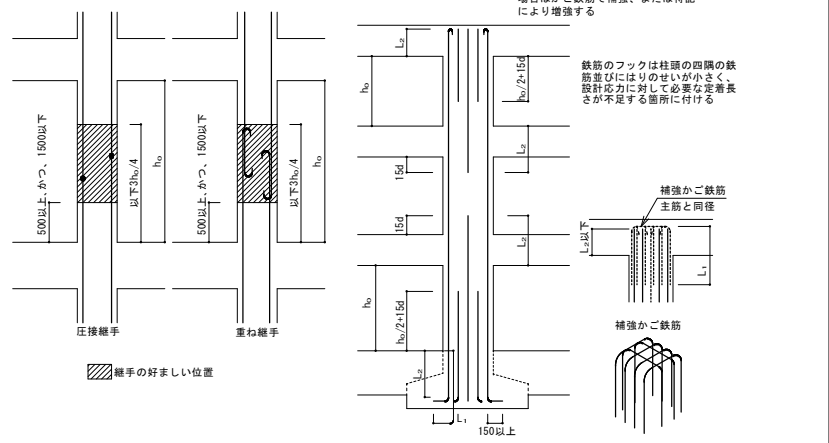


(4) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領

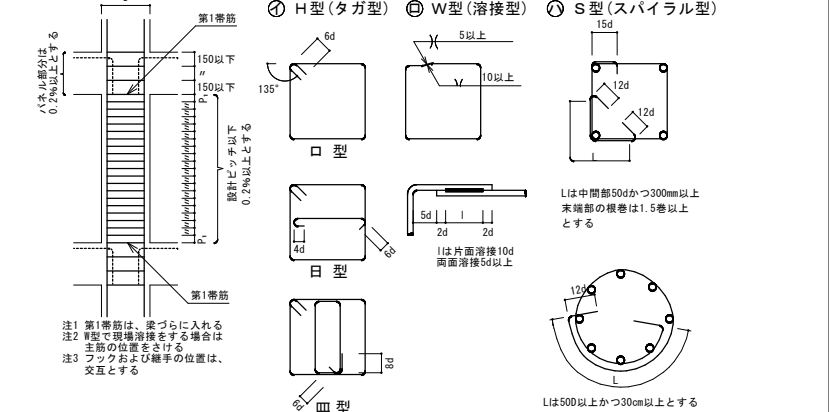


6. 柱

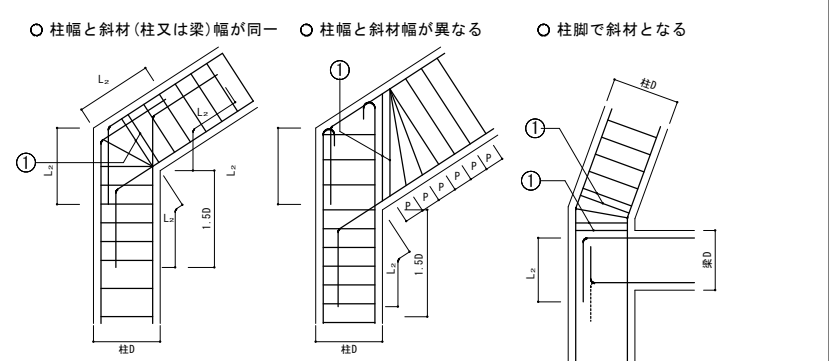
(1) 柱主筋の継手



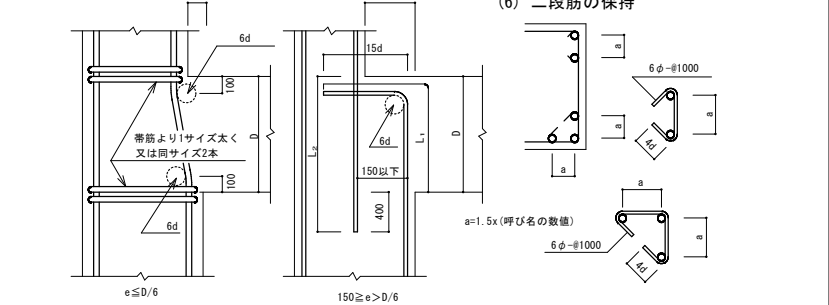
(3) 帯筋



(4) 斜め柱・斜め梁



(5) 折り



工事名称	(仮称) 公社赤道都市再生住宅整備工事(建築)	工事年度	令和1年度
工事場所	うるま市赤道972番51、929番11	図面名称	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	NOSCALE
適用		図面番号	S-02

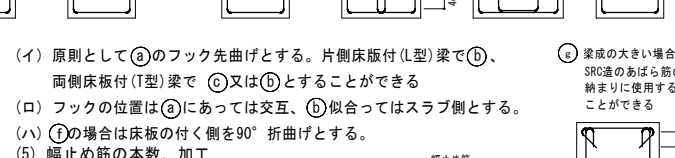
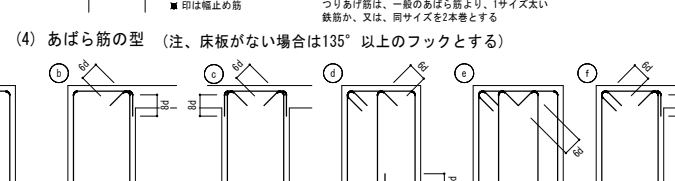
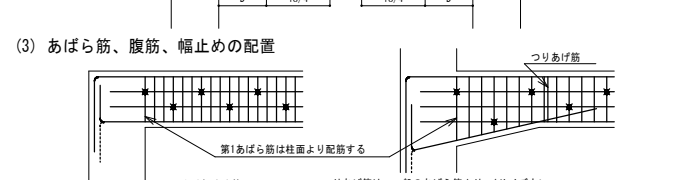
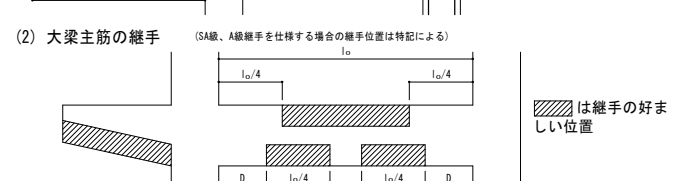
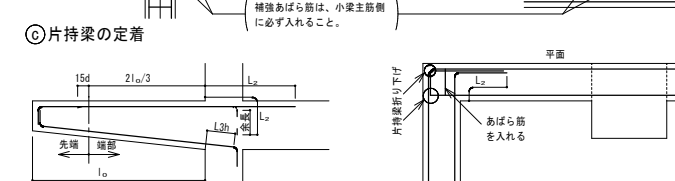
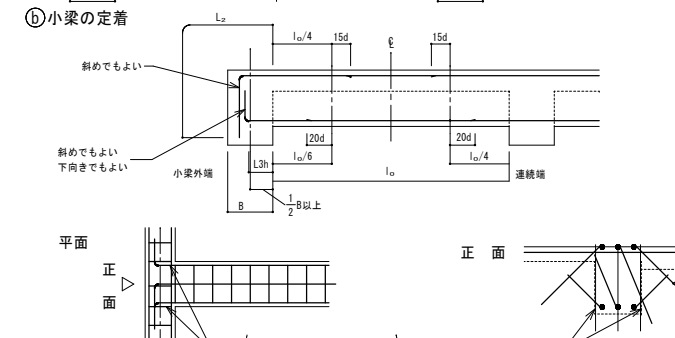
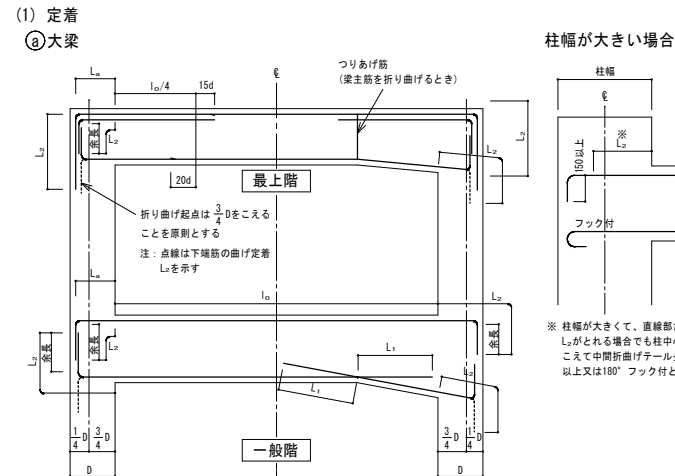
一級建築士事務所 有限会社アゴラエンジニアリング
 一級建築士事務所第184-1247号 一級建築士第178301号 安里 和歌
 構造設計一級建築士第4913号 安里 和歌
 那覇市泊2丁目6番地1 泊隣ビル 3階
 TEL:098-866-3339 FAX:098-866-1478 MAIL:agora@nirai.ne.jp

管理建築士	設計	製図	名称	(株)かみもり設計
			資格者氏名	比嘉 豊 第305084号
			登録番号	第103-478号
			所在地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

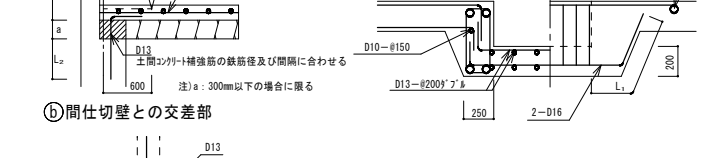
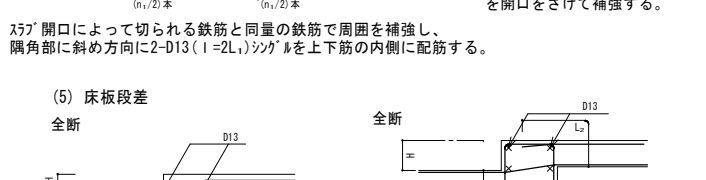
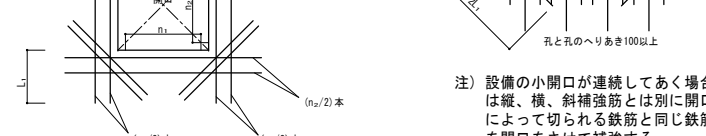
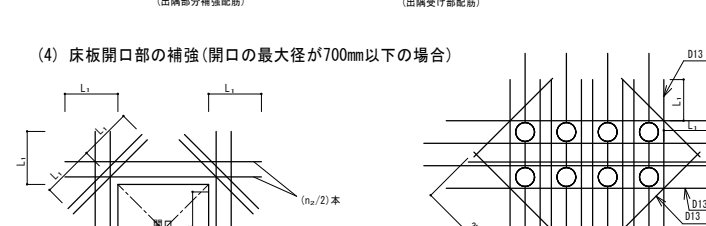
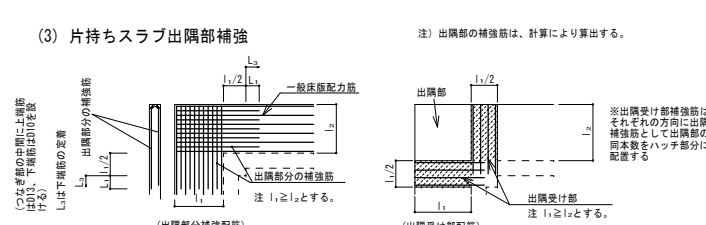
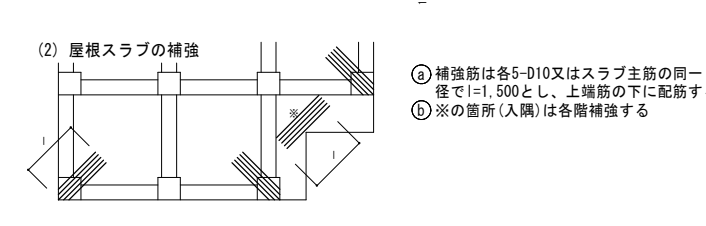
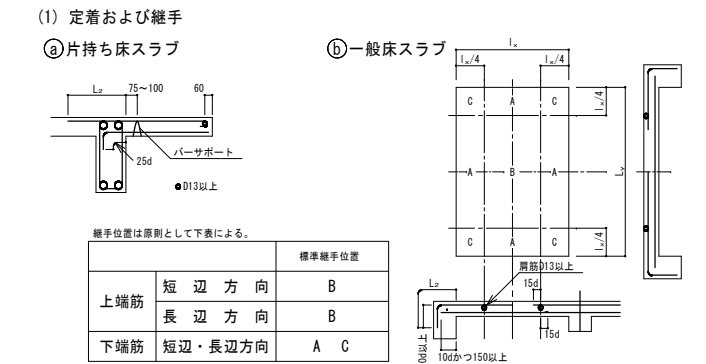
※修正箇所は下線を引くこと
L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(3)による。

7. 大梁、小梁、片持梁

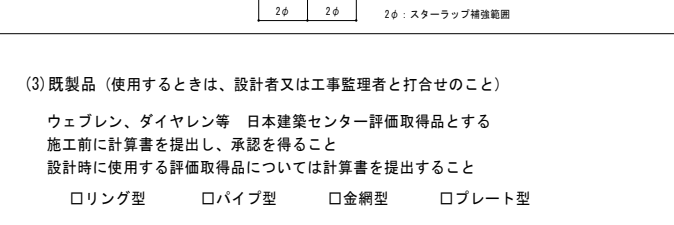
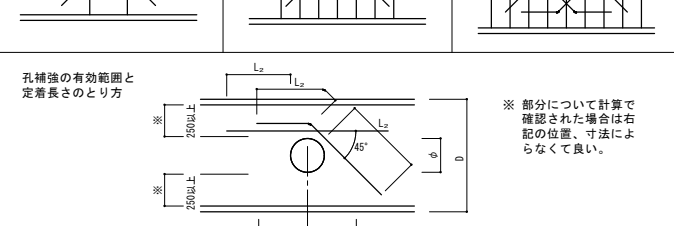
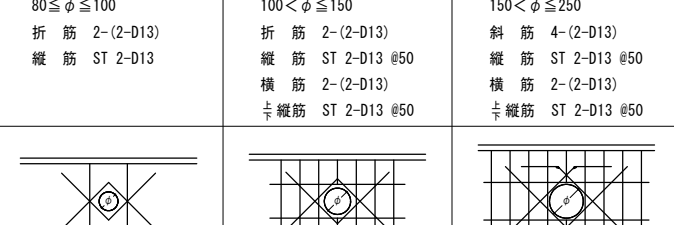
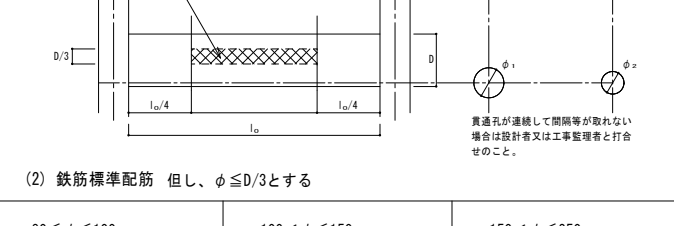
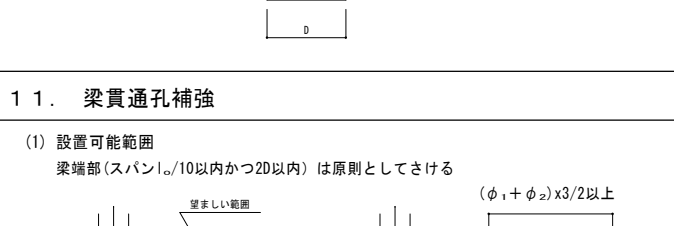
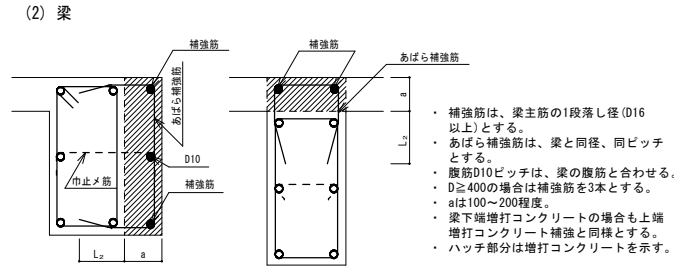
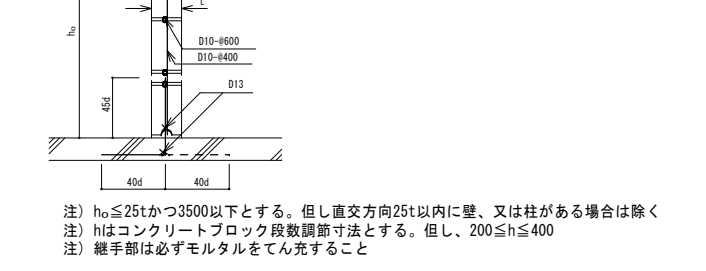
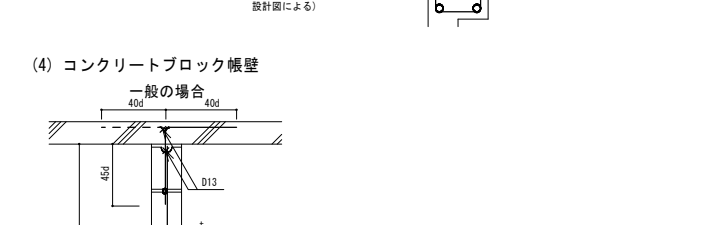
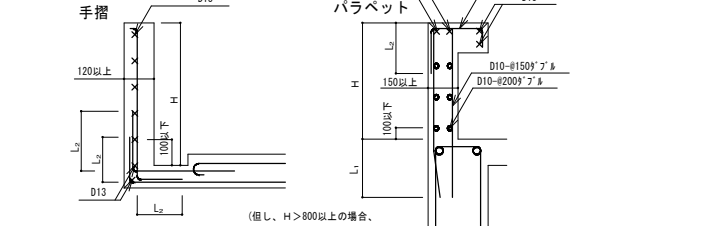
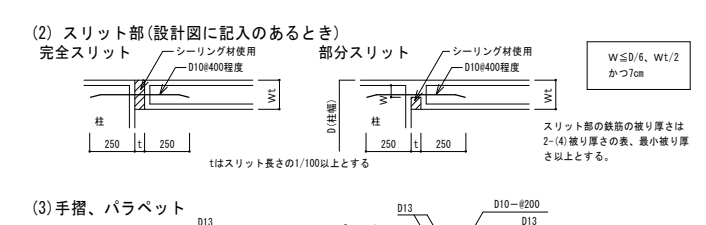
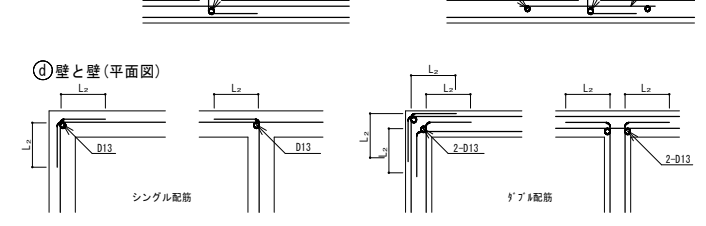
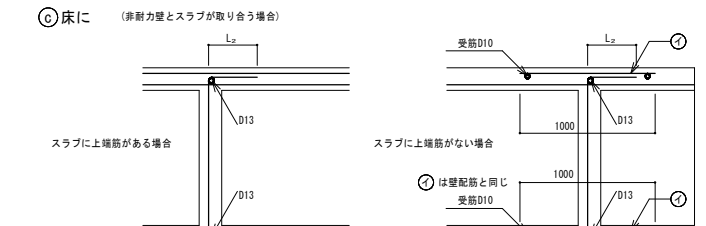
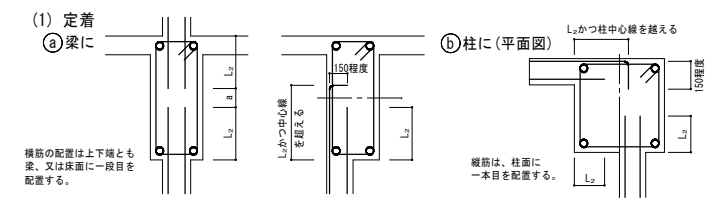


腹筋	D<600 不要 600≦D<900 2-D10(9φ) 1段 900≦D<1200 4-D10(9φ) 2段 1200≦D D10(9φ) @300以内
幅止め筋	D10(9φ)@1000位内で割り付ける

8. 床板



9. 壁



工事名称	(仮称) 公社赤道都市再生住宅整備工事(建築)	工事年度	令和1年度
工事場所	うるま市赤道972番51、929番11	図面名称	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	NOSCALE
適用		図面番号	S-03

AG 一級建築士事務所 有限会社アゴラエンジニアリング

一級建築士事務所 184-1247号 安里 和歌

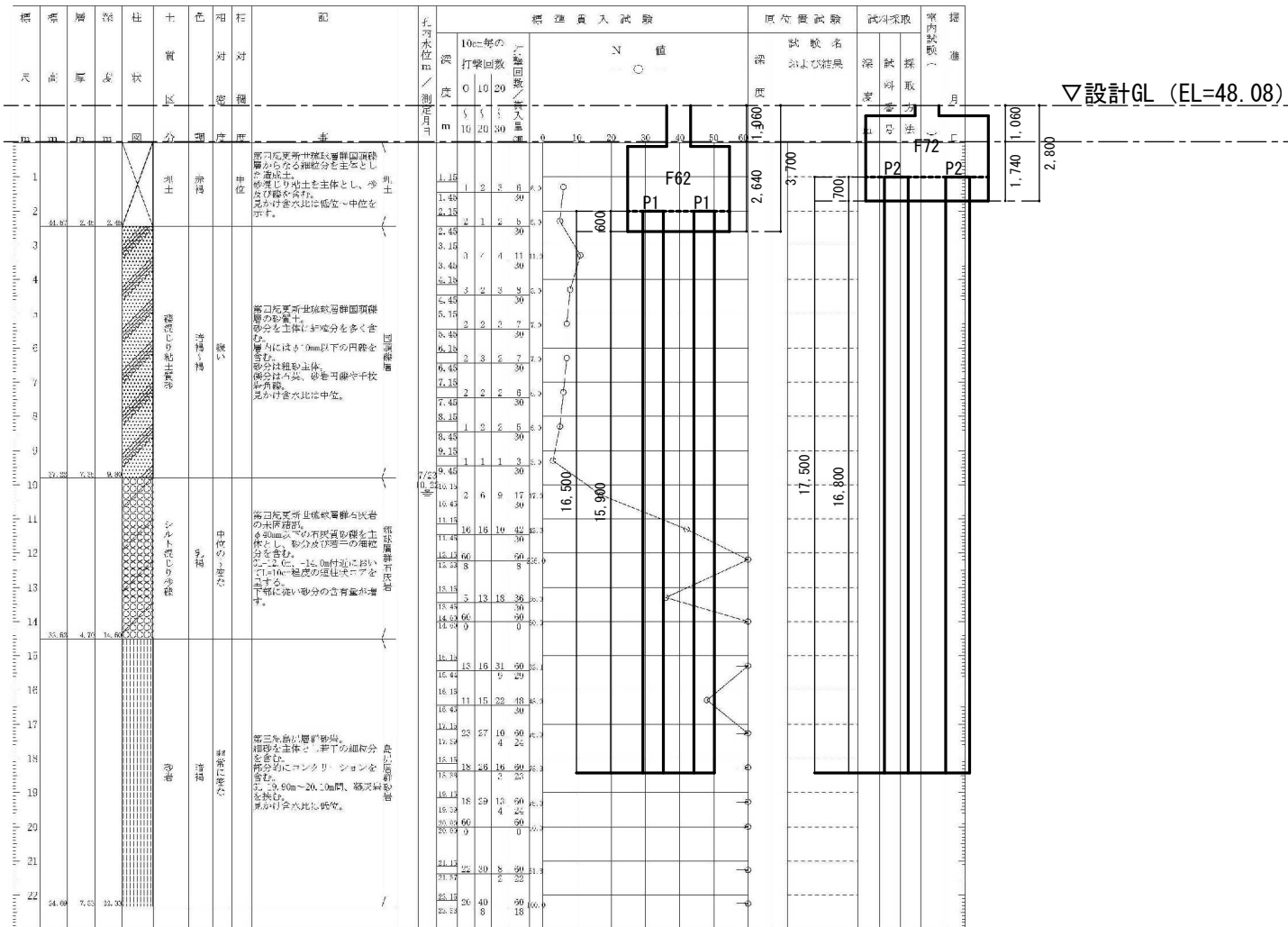
構造設計一級建築士 4913号 安里 和歌

那覇市泊2丁目6番地1 泊隣ビル 3階

TEL:098-866-3339 FAX:098-866-1478 MAIL:agora@nirai.ne.jp


設計者	名称	(株)かみもり設計
資格者氏名	比嘉 豊	第305084号
登録番号	第103-478号	
所在地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号	

ボーリング名	31		調査位置	うるま市赤道972番51、929番11		北緯	26° 21' 50.7631"
発注機関	沖縄県住宅供給公社		調査期間	年月22日～1年7月23日		東経	127° 39' 48.2126"
調査業者名	株式会社 西興 登録 (098) 682 3150	主任技師	現場代理人	調査員	分譲	ボーリング責任者	具志堅
ボーリング深	EL +47.02m	方位	試験機	YBM-05D	ハンマー 落下用具	半自動モンケン	
総掘進長	22.32m	方位	エンジン	NFD-09	ポンプ	YS550EX	

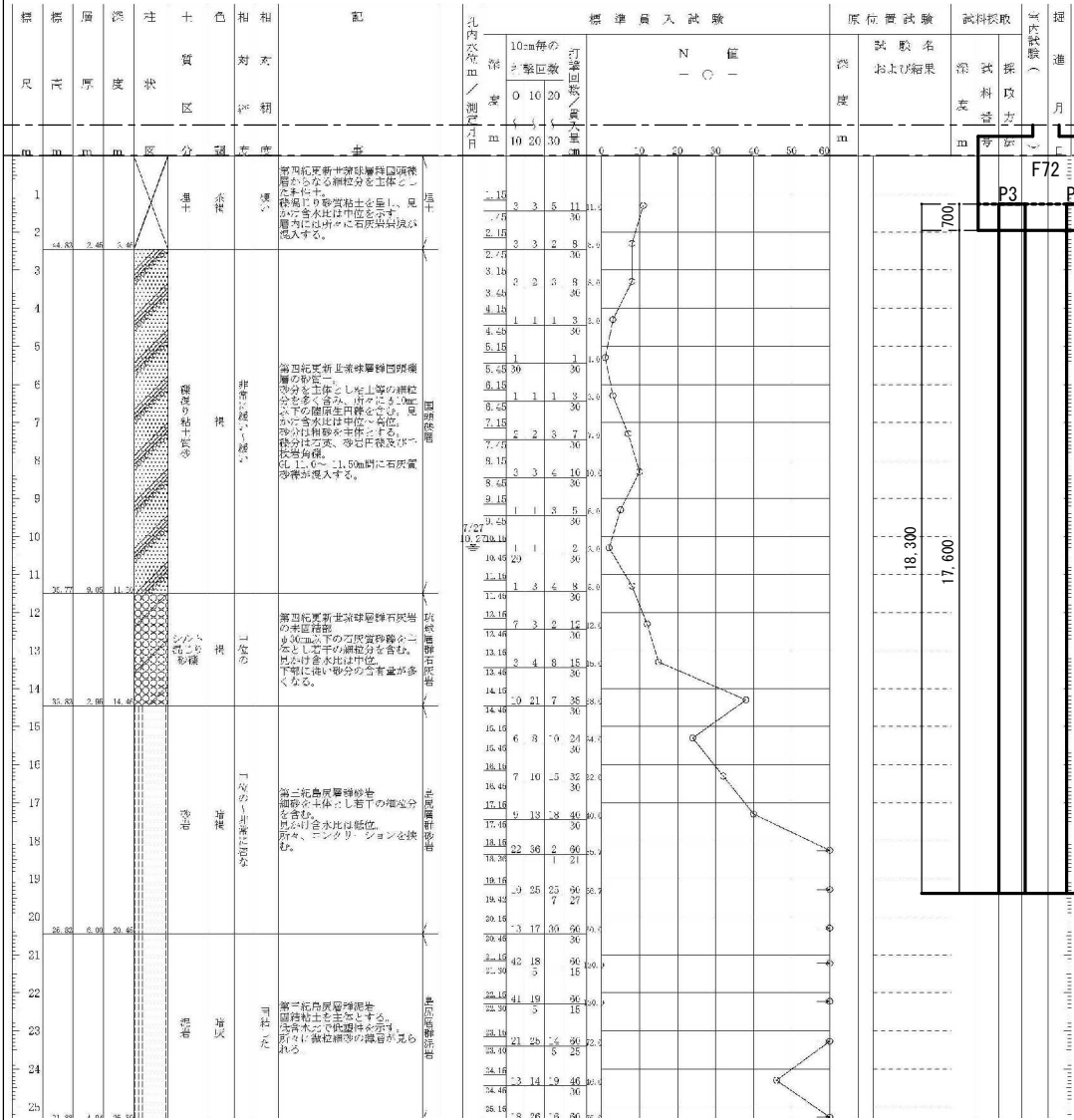


B-1 柱状図 縮尺 1/100

工事名称	(仮称) 公社赤道都市再生住宅整備工事 (建築)	工事年度	令和1年度
工事場所	うるま市赤道972番51、929番11	図面名称	柱状図(1)
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	A1=1:200 A3=1:400
適用		図面番号	S-04
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) かみもり設計	
	資格者氏名	比嘉 豊 第305084号	
	登録番号	第103-478号	
	所在地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号	

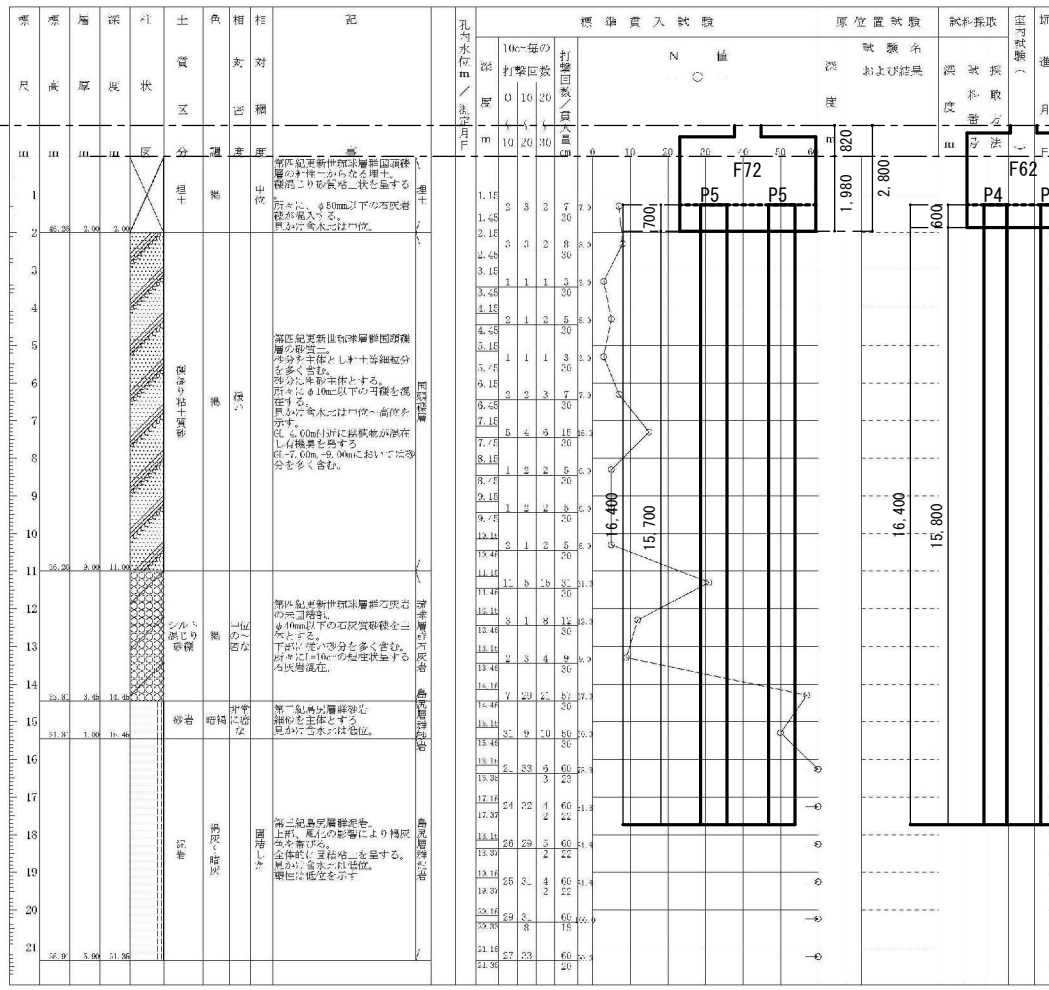

 一級建築士事務所 有限会社アゴラエンジニアリング
 一級建築士事務所第184-1247号 一級建築士第178301号 安里 和敬
 構造設計一級建築士第4913号 安里 和敬
 那覇市泊2丁目6番地1 泊隣ビル 3階
 TEL:098-866-3339 FAX:098-866-1478 MAIL:agora@nirai.ne.jp

ボーリング名	B-2	調査位置	うるま市赤道972番51、929番11	北緯	26° 21' 61.2652"	
発注機関	沖縄県住宅供給公社		調査期間	R1年7月24日～1年7月27日	東経	127° 49' 47.1116"
調査業者名	株式会社 百興 電話 (098-882-3160)	主任技師	伊藤 具志堅	現場代理人	伊藤 具志堅	
ボーリング機	YBM-06DA	ハンマー	落下用具	ハンマー	落下用具	
ポンプ	NFAD-09	ポンプ	YS660DX			




B-2 柱状図 縮尺 1/100

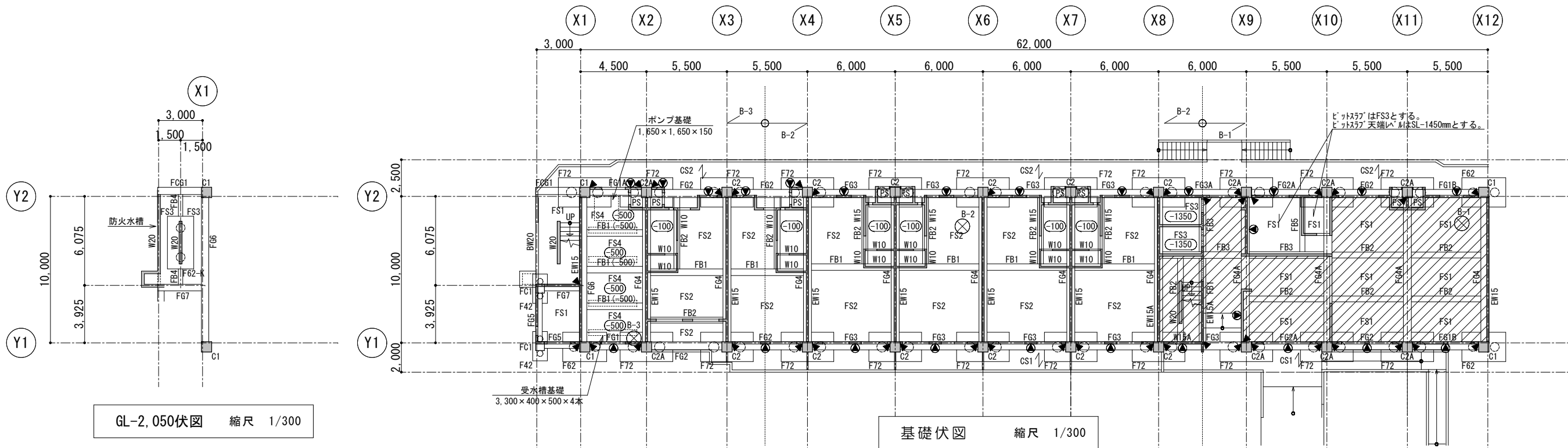
ボーリング名	B-3	調査位置	うるま市赤道972番51、929番11	北緯	26° 21' 51.3416"	
発注機関	沖縄県住宅供給公社		調査期間	令和2年7月29日～1年7月30日	東経	127° 49' 48.2736"
調査業者名	株式会社 百興 電話 (098-882-3160)	主任技師	伊藤 具志堅	現場代理人	伊藤 具志堅	
ボーリング機	YBM-06DA	ハンマー	落下用具	ハンマー	落下用具	
ポンプ	NFAD-09	ポンプ	YS660DX			



B-3 柱状図 縮尺 1/100

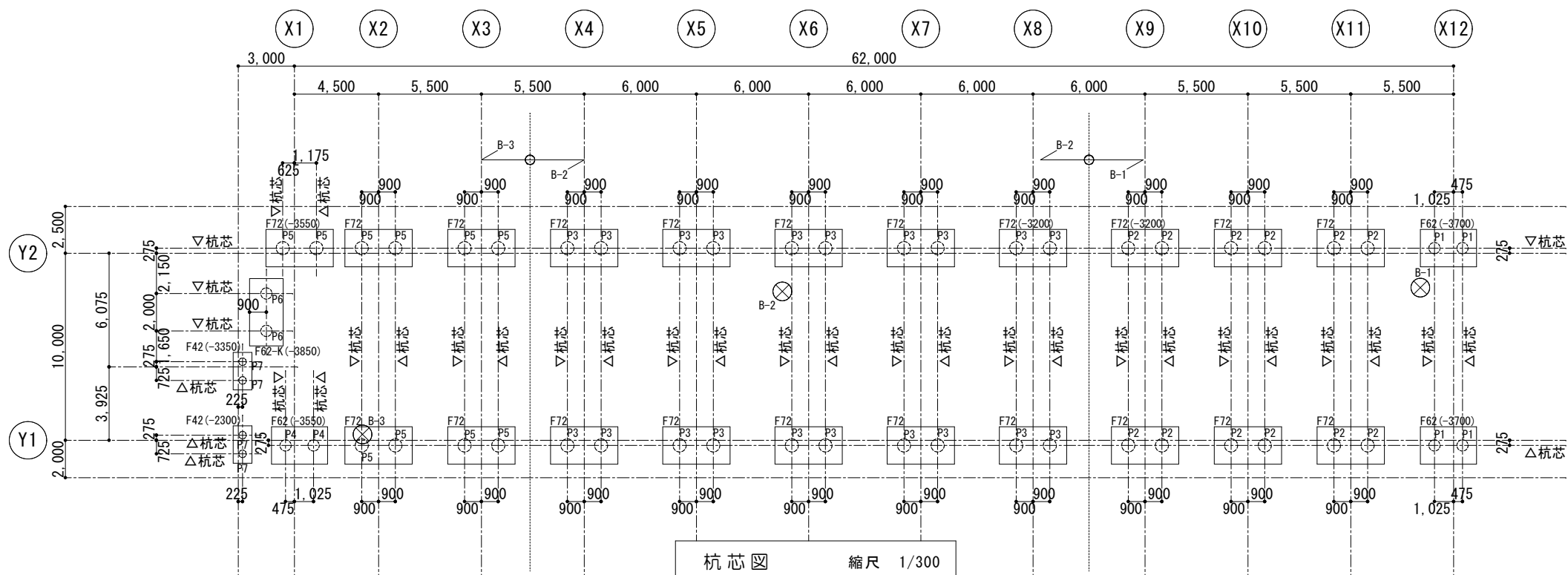
工事名称	(仮称) 公社赤道都市再生住宅整備工事 (建築)	工事年度	令和1年度
工事場所	うるま市赤道972番51、929番11	図面名称	柱状図(2)
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	A1=1:200 A3=1:400
適用		図面番号	S-05
管理建築士	設計	製図	
設計者	名称 (株) かみもり設計		
資格者氏名	比嘉 豊 第305084号		
登録番号	第103-478号		
所在地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号		


 一級建築士事務所 有限会社アゴラエンジニアリング
 一級建築士事務所第184-1247号 一級建築士第178301号 安里 和歌
 構造設計一級建築士第4913号 安里 和歌
 那覇市泊2丁目6番地1 泊隣ビル 三階
 TEL:098-866-3339 FAX:098-866-1478 MAIL:agora@nirai.ne.jp



GL-2,050伏図 縮尺 1/300

基礎伏図 縮尺 1/300



杭芯図 縮尺 1/300

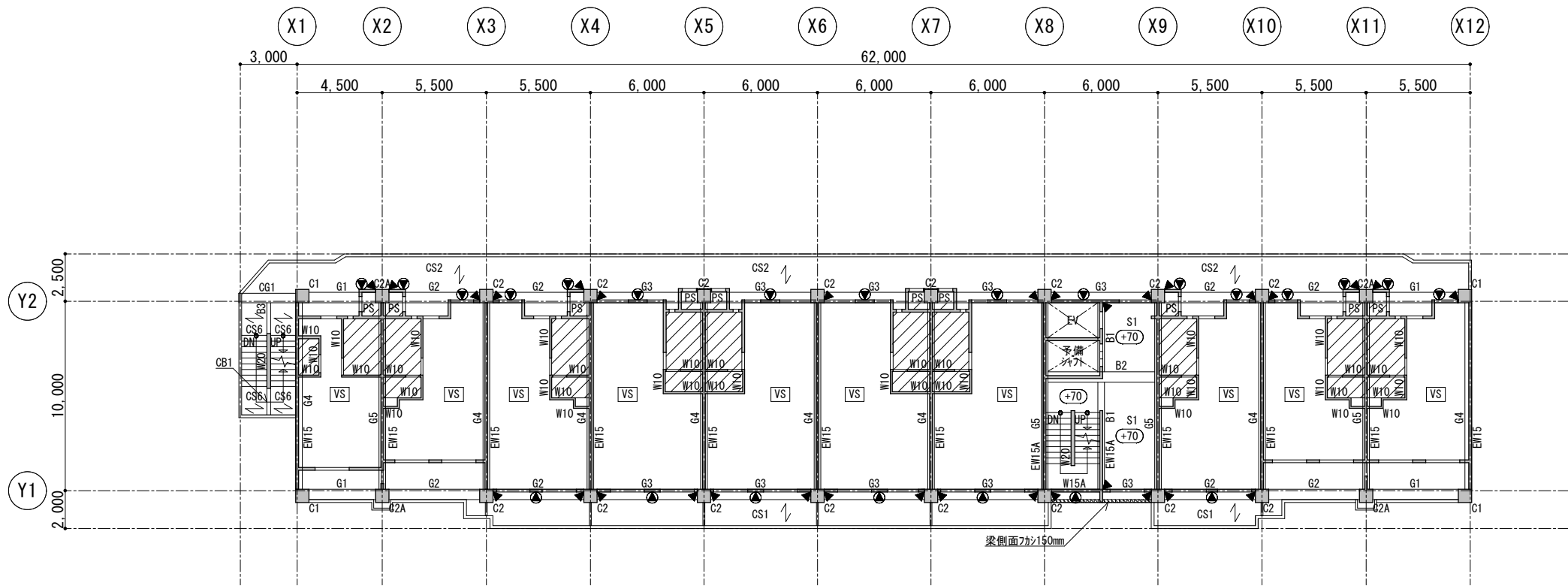
- 特記なき場合
- ・壁はW15とする
 - ・スラブ天端レベルは SL±0とする (斜線はSL+70とする)
 - ・梁天端レベルは SL-150とする
 - ・基礎底レベルは GL-2,800とする

- 凡例
- 内は SL からのスラブ天端レベルを示す
 - ()内は SL からの梁端レベルを示す
 - 杭芯図の()内は GL からの基礎底レベルを示す
 - ▶は 垂直構造方向を示す
 - は 水平構造方向を示す
 - ↖は 主筋方向を示す
 - 斜線は フガを示す

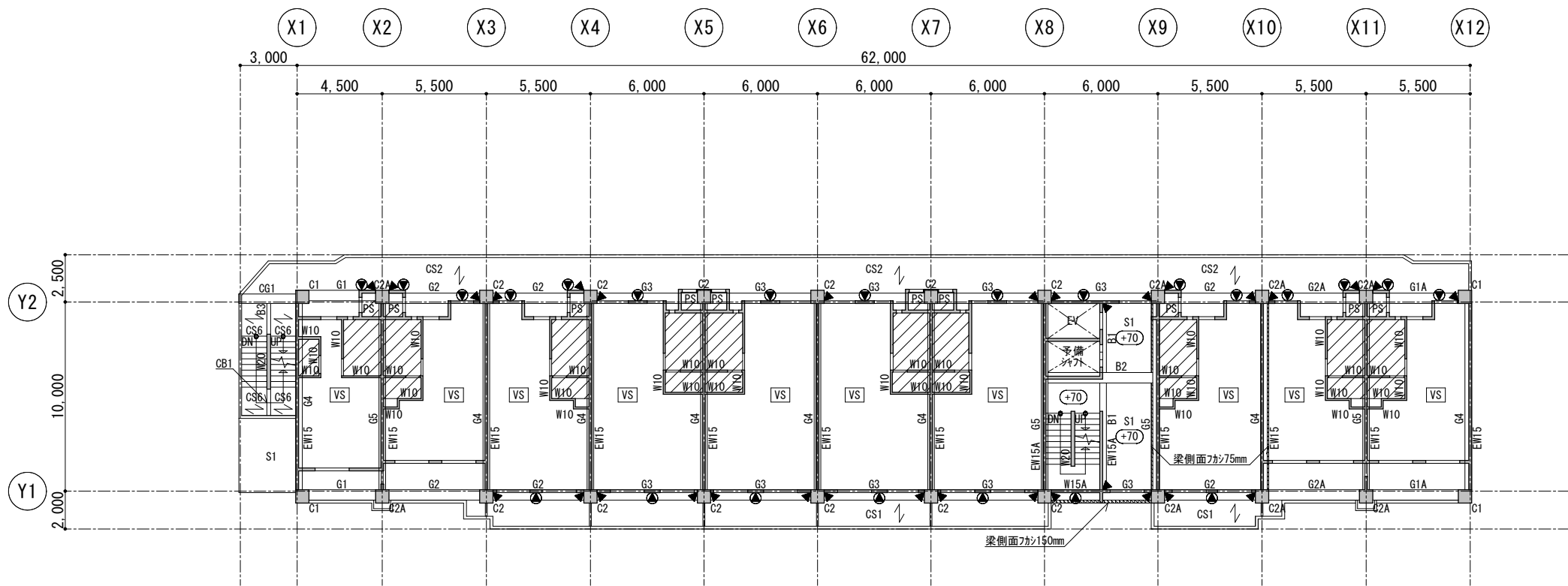
工法：ハイエフイー(HIFB)工法				杭種：既製コンクリート杭			
杭符号	基礎符号	杭径	厚さ	杭割	長期支持力 (KN/本)	本数	合計
P1	F62	600	90	上杭:7.00m(CPRC105 III) 下杭:9.50m(PHC105 A)	1920.0	4	54
P2	F72	700	100	上杭:7.00m(CPRC105 II) 下杭:10.50m(PHC105 A)	2615.0	12	
P3	F72	700	100	上杭:7.00m(CPRC105 II) 下杭:11.30m(PHC105 A)	2615.0	20	
P4	F62	600	90	上杭:7.00m(CPRC105 II) 下杭:9.40m(PHC105 A)	1920.0	2	
P5	F72	700	100	上杭:7.00m(CPRC105 II) 下杭:9.40m(PHC105 A)	2615.0	10	
P6	F42	600	90	上杭:7.00m(CPRC105 II) 下杭:7.40m(PHC105 A)	1920.0	2	
P7	F62-K	400	65	上杭:7.00m(CPRC105 III) 下杭:7.40m(PHC105 A)	855.0	4	

一級建築士事務所 有限会社アゴラエンジニアリング
 一級建築士事務所第184-1247号 一級建築士第178301号 安里 和歌
 構造設計一級建築士第4913号 安里 和歌
 那覇市泊2丁目6番地1 泊隣ビル 3階
 TEL:098-866-3339 FAX:098-866-1478 MAIL:agora@nirai.ne.jp

工事名称	(仮称) 公社赤道都市再生住宅整備工事 (建築)	工事年度	令和1年度
工事場所	うるま市赤道972番51、929番11	図面名称	杭芯図・基礎伏図
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	A1=1:150 A3=1:300
適用		図面番号	S-06
管理建築士	設計 製図	名称	(株)かみもり設計
設計者		資格者氏名	比嘉 豊 第305084号
検印		登録番号	第103-478号
		所在地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号

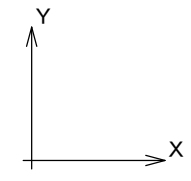


3階伏図 縮尺 1/300




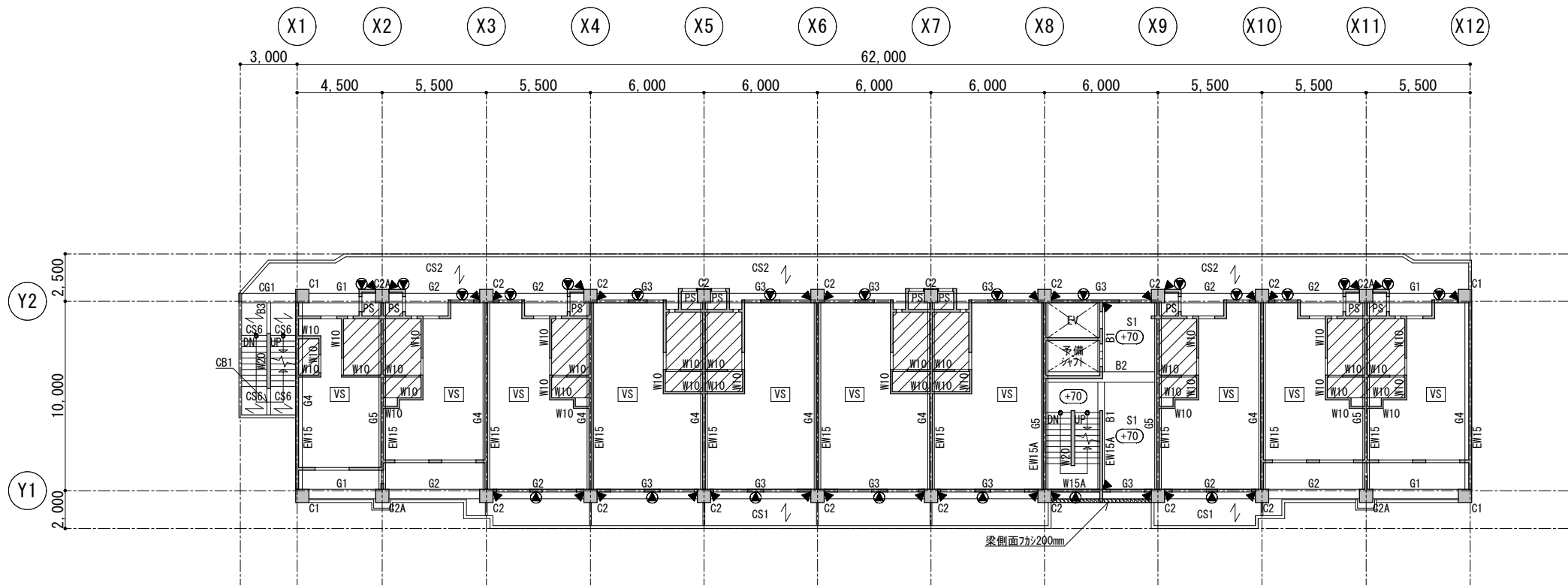
2階伏図 縮尺 1/300

- 特記なき場合
- ・壁はW15とする
 - ・スラブ天端レベルは SL±0とする (斜線はSL-100とする)
 - ・梁天端レベルは SL±0 とする
 - ・[VS] は 'イト'スラ配置図参照
- 凡例
- ・○内は SL からのスラ'天端'レベルを示す
 - ・()内は SL からの梁端'レベル'を示す
 - ・▶ は 垂直構造スリットを示す
 - ・● は 水平構造スリットを示す
 - ・↖ は 主筋方向を示す
 - ・斜線は フカシを示す

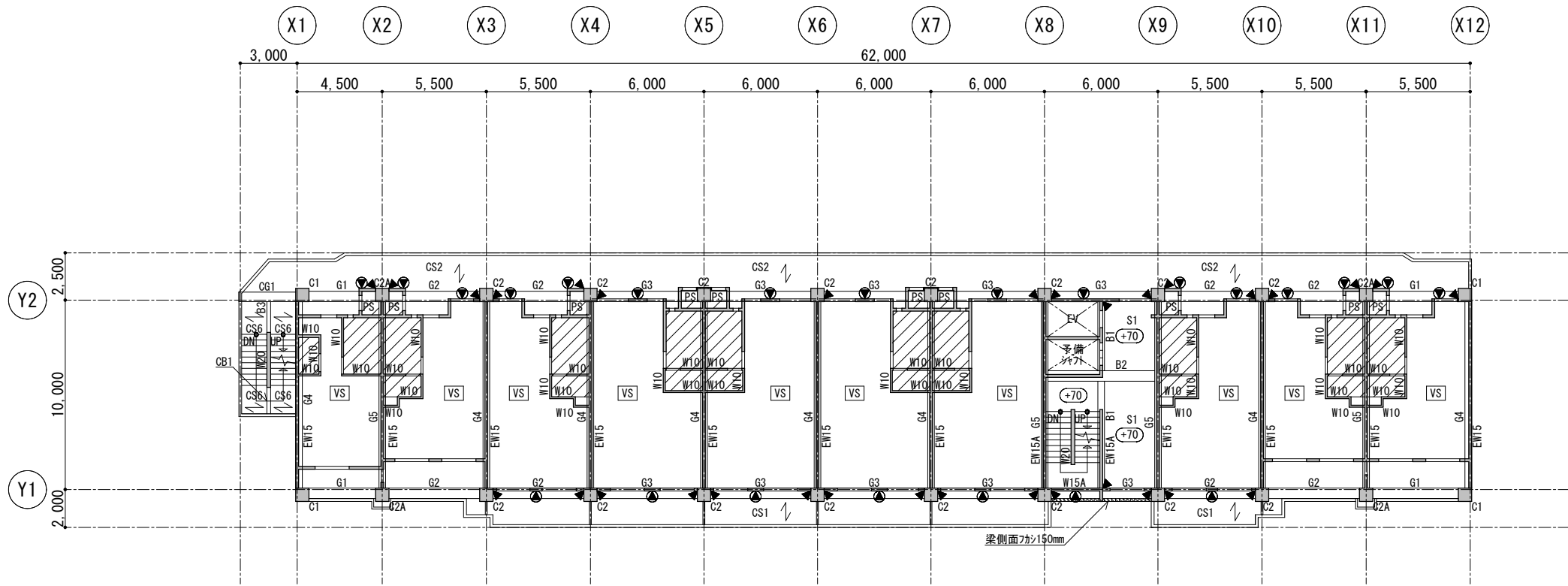


工事名称	(仮称) 公社赤道都市再生住宅整備工事 (建築)	工事年度	令和 1 年度	
工事場所	うるま市赤道972番51、929番11	図面名称	2階伏図・3階伏図	
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	A1=1:150 A3=1:300	
適用		図面番号	S-07	
検印	管理建築士	設計	製図	
	設計者	名称	(株) かみもり設計	
	登録番号	資格者氏名	比嘉 豊 第305084号	
	所在地	登録番号	第103-478号	
			所在地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号


 一級建築士事務所 有限会社アゴラエンジニアリング
 一級建築士事務所第184-1247号 一級建築士第178301号 安里 和敬
 構造設計一級建築士第4913号 安里 和敬
 那覇市泊2丁目6番地1 泊隣ビル 3階
 TEL:098-866-3339 FAX:098-866-1478 MAIL:agora@nirai.ne.jp



5階伏図 縮尺 1/300

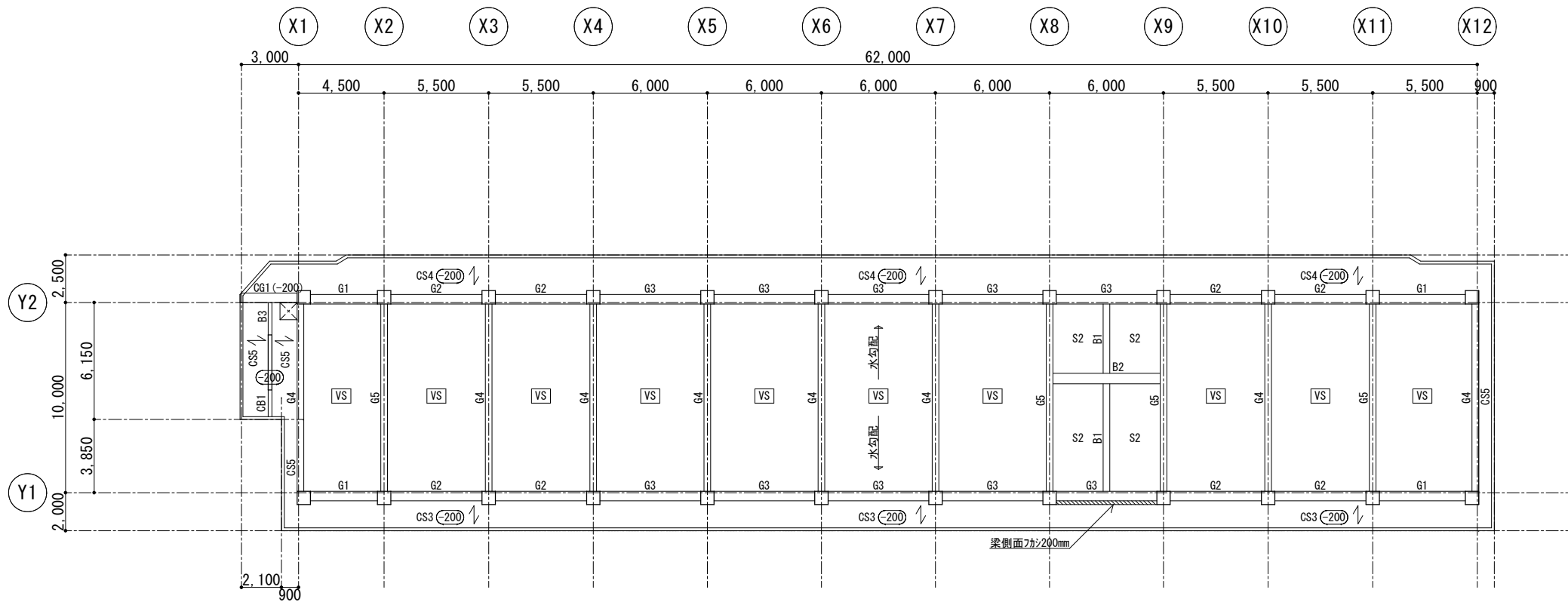


4階伏図 縮尺 1/300

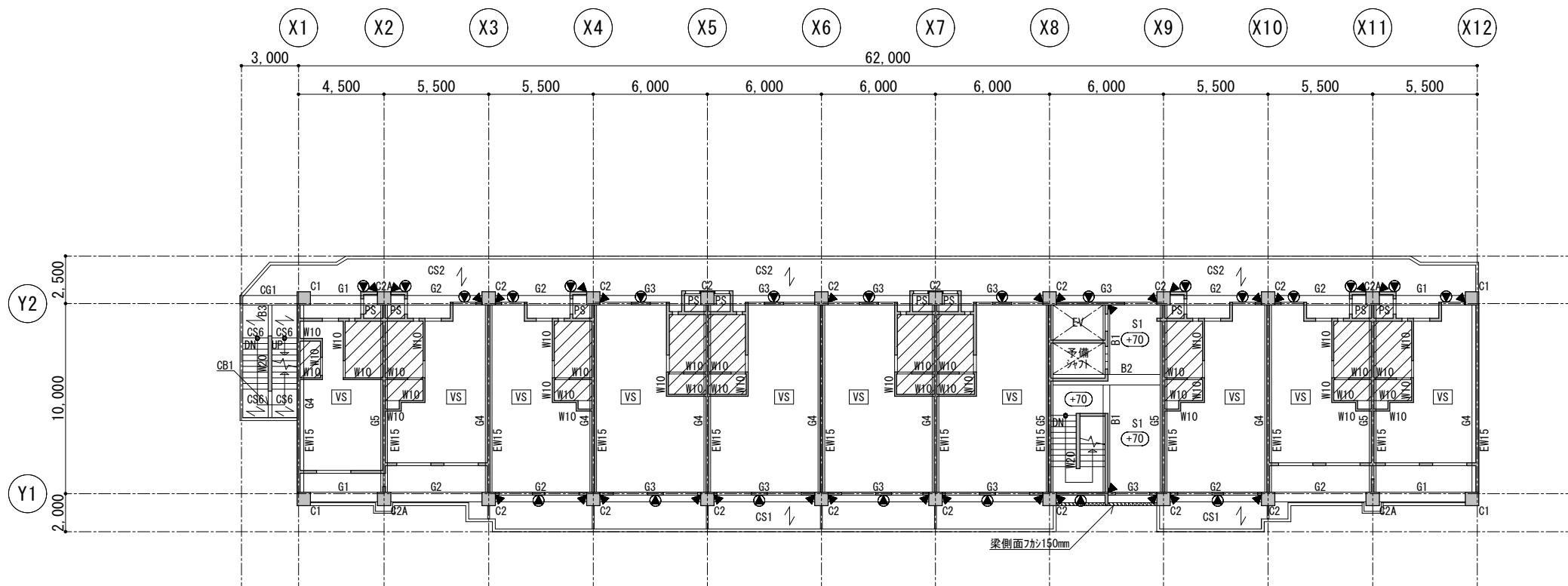
- 特記なき場合
- ・壁はW15とする
 - ・スラブ天端レベルは SL±0とする (斜線はSL-100とする)
 - ・梁天端レベルは SL±0 とする
 - ・[VS] は 'イト'スラ配置図参照
- 凡例
- ・○内は SL からのスラ天端レベルを示す
 - ・()内は SL からの梁端レベルを示す
 - ・▶ は 垂直構造スリットを示す
 - ・● は 水平構造スリットを示す
 - ・↖ は 主筋方向を示す

工事名称	(仮称) 公社赤道都市再生住宅整備工事 (建築)	工事年度	令和 1 年度
工事場所	うるま市赤道972番51、929番11	図面名称	4階伏図・5階伏図
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	A1=1:150 A3=1:300
適用		図面番号	S-08
検印	管理建築士	設計	製図
	設計者	資格者氏名	(株) かみもり設計
	登録番号	比嘉 豊	第305084号
	所在地	第103-478号	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号


 一級建築士事務所 有限会社アゴラエンジニアリング
 一級建築士事務所第184-1247号 一級建築士第178301号 安里 和敬
 構造設計一級建築士第4913号 安里 和敬
 那覇市泊2丁目6番地1 泊隣ビル 3階
 TEL:098-866-3339 FAX:098-866-1478 MAIL:agora@nirai.ne.jp

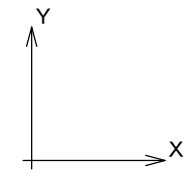


R階伏図 縮尺 1/300




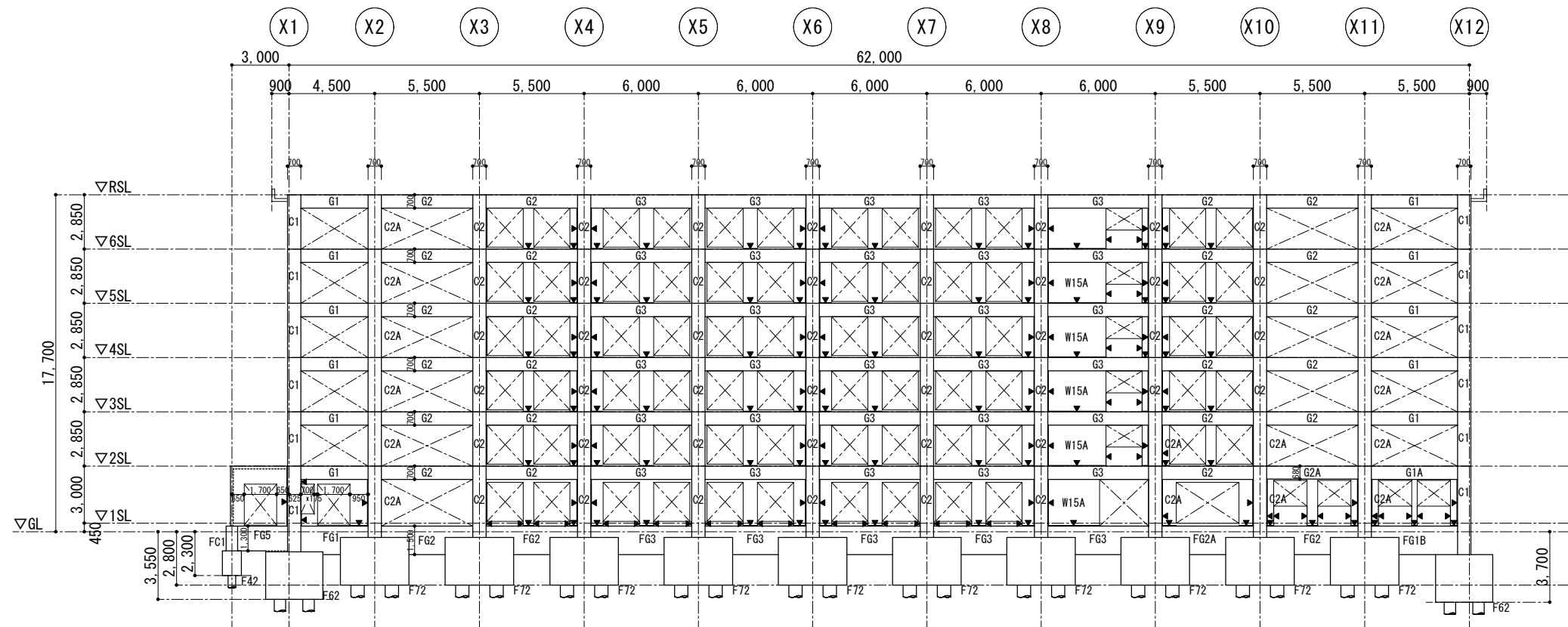
6階伏図 縮尺 1/300

- 特記なき場合
- ・壁はW15とする
 - ・スラブ天端レベルは SL±0とする (斜線はSL-100とする)
 - ・梁天端レベルは SL±0 とする
 - ・[VS] は 'イト'スラ' 配置図参照
- 凡例
- ・○内は SL からのスラ'天端'レベルを示す
 - ・()内は SL からの梁端'レベル'を示す
 - ・▶ は 垂直構造スリットを示す
 - ・● は 水平構造スリットを示す
 - ・↖ は 主筋方向を示す

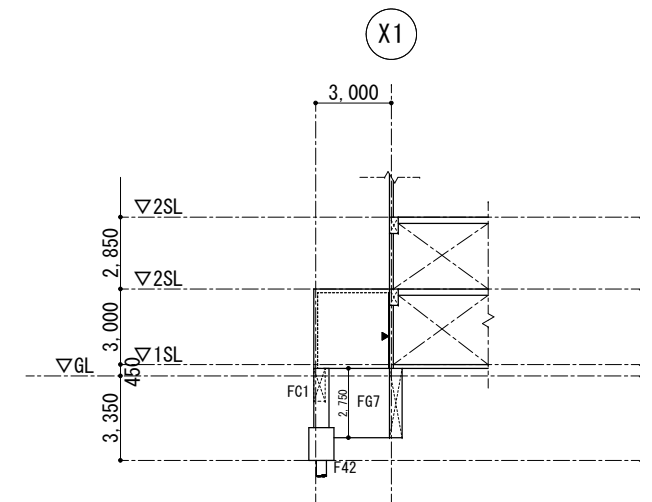


工事名称	(仮称) 公社赤道都市再生住宅整備工事 (建築)	工事年度	令和 1 年度
工事場所	うるま市赤道972番51、929番11	図面名称	6階伏図・屋根伏図
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	A1=1:150 A3=1:300
適用		図面番号	S-09
検印	管理建築士	設計	製図
	設計者	資格者氏名	(株) かみもり設計
	登録番号	比嘉 豊	第305084号
	所在地	第103-478号	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号

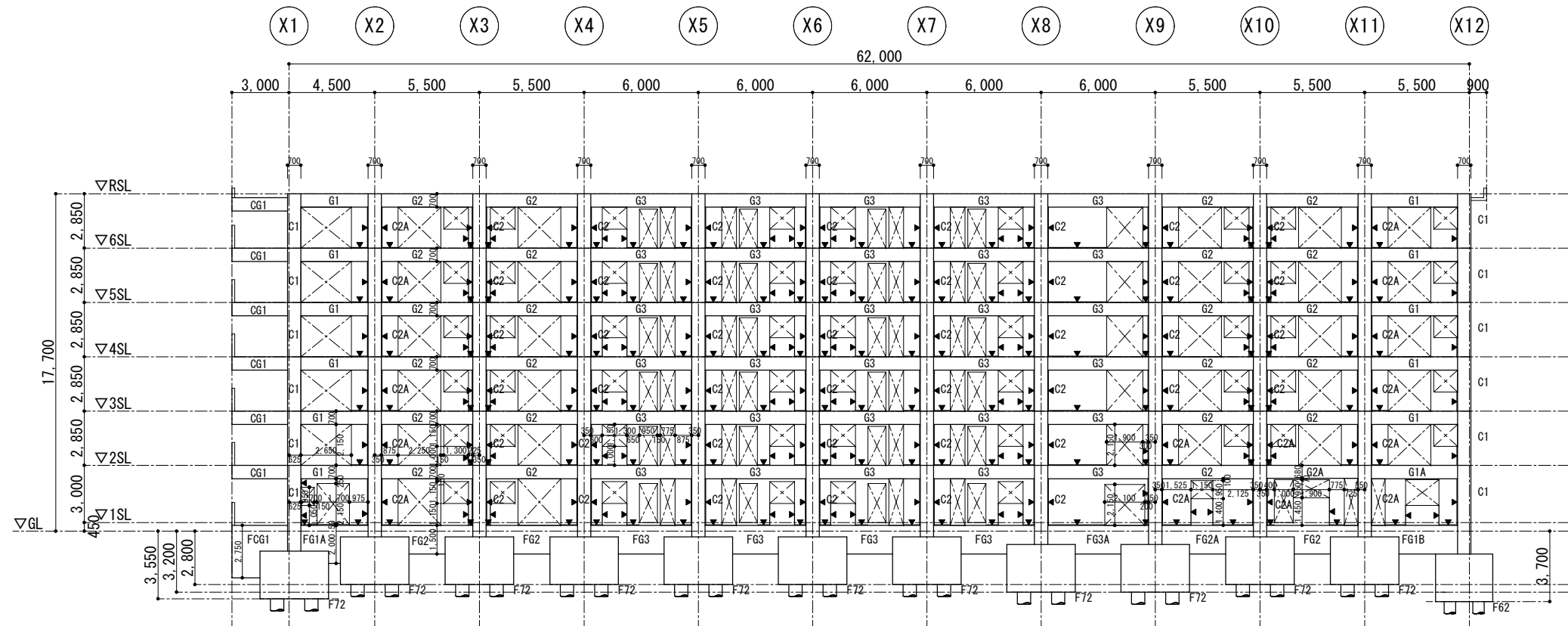

 一級建築士事務所 有限会社アゴラエンジニアリング
 一級建築士事務所第184-1247号 一級建築士第178301号 安里 和敬
 構造設計一級建築士第4913号 安里 和敬
 那覇市泊2丁目6番地1 泊隣ビル 三階
 TEL:098-866-3339 FAX:098-866-1478 MAIL:agora@nirai.ne.jp



Y1 通り軸組図 縮尺 1/300



Y1 +3925 通り軸組図 縮尺 1/300

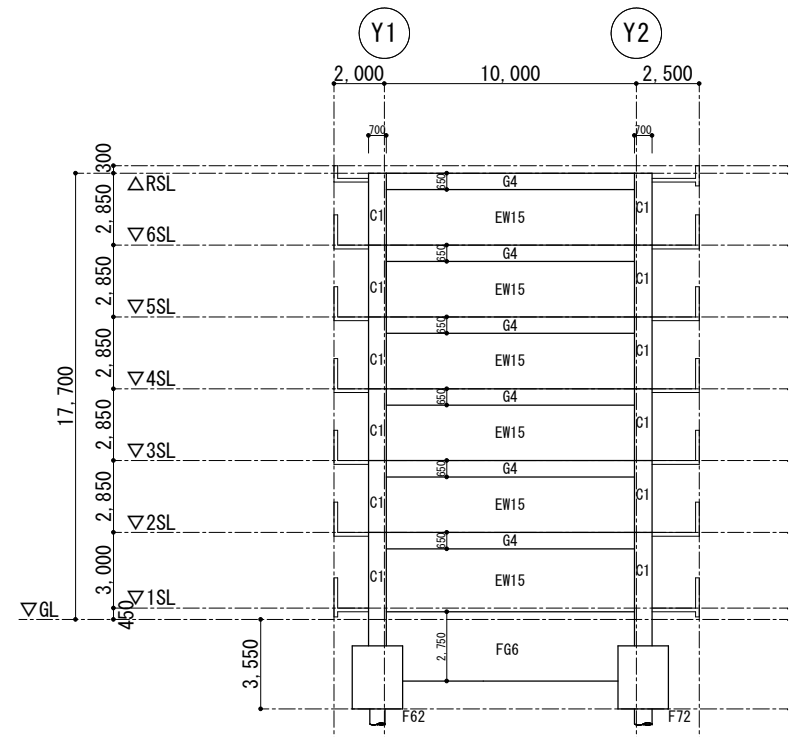


Y2 通り軸組図 縮尺 1/300

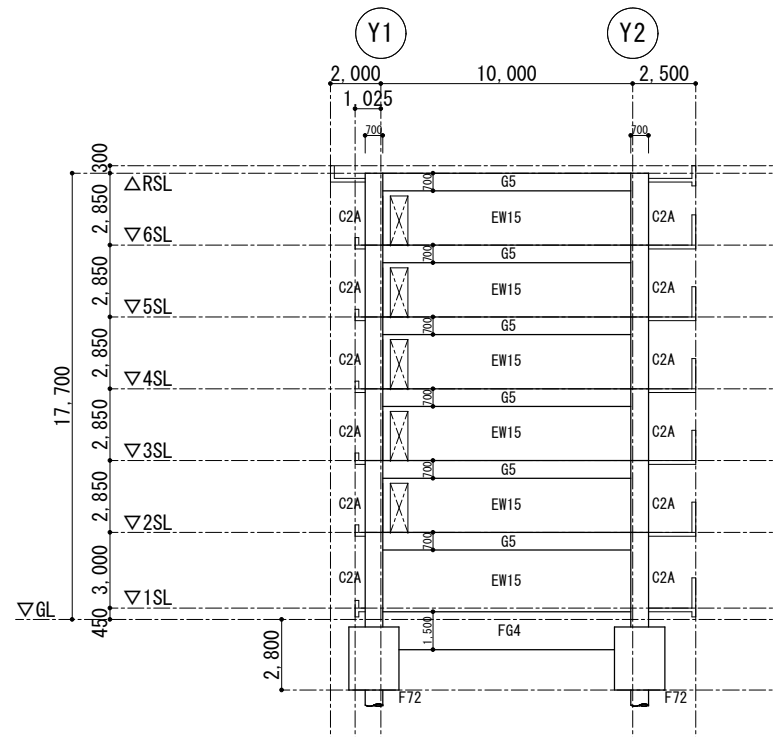
特記なき場合
 ・壁はW15とする
 凡例
 ◀ ▶ 構造リフトを示す

一級建築士事務所 有限会社アゴラエンジニアリング
 一級建築士事務所第184-1247号 一級建築士第178301号 安里 和敬
 構造設計一級建築士第4913号 安里 和敬
 那覇市泊2丁目6番地1 泊隣ビル 三階
 TEL:098-866-3339 FAX:098-866-1478 MAIL:agora@nirai.ne.jp

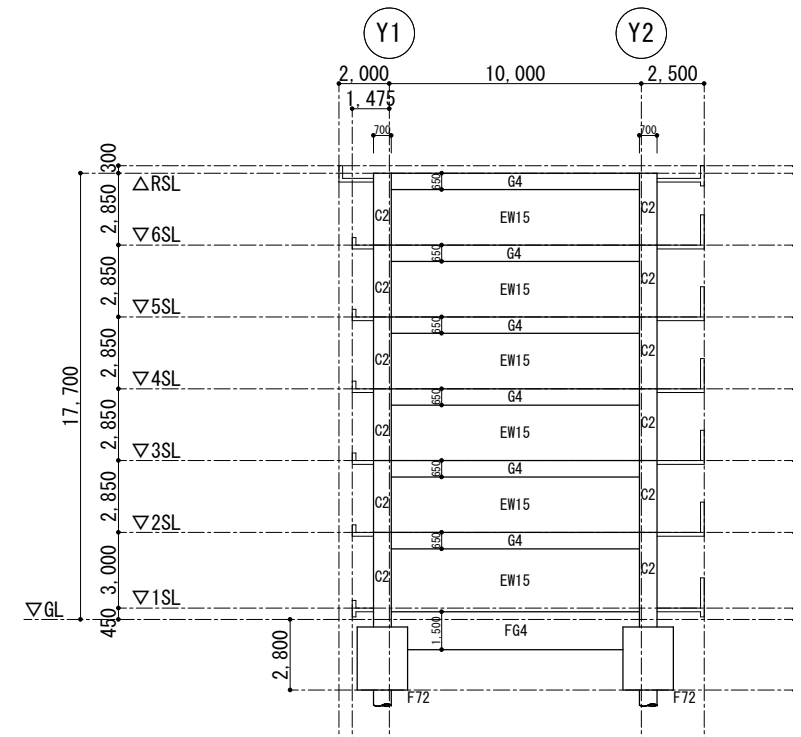
工事名称	(仮称) 公社赤道都市再生住宅整備工事 (建築)	工事年度	令和1年度
工事場所	うるま市赤道972番51、929番11	図面名称	軸組図(1)
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	A1=1:150 A3=1:300
適用		図面番号	S-10
検印	管理建築士	設計	製図
	名称	(株) かみもり設計	
	資格者氏名	比嘉 豊 第305084号	
	登録番号	第103-478号	
	所在地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号	



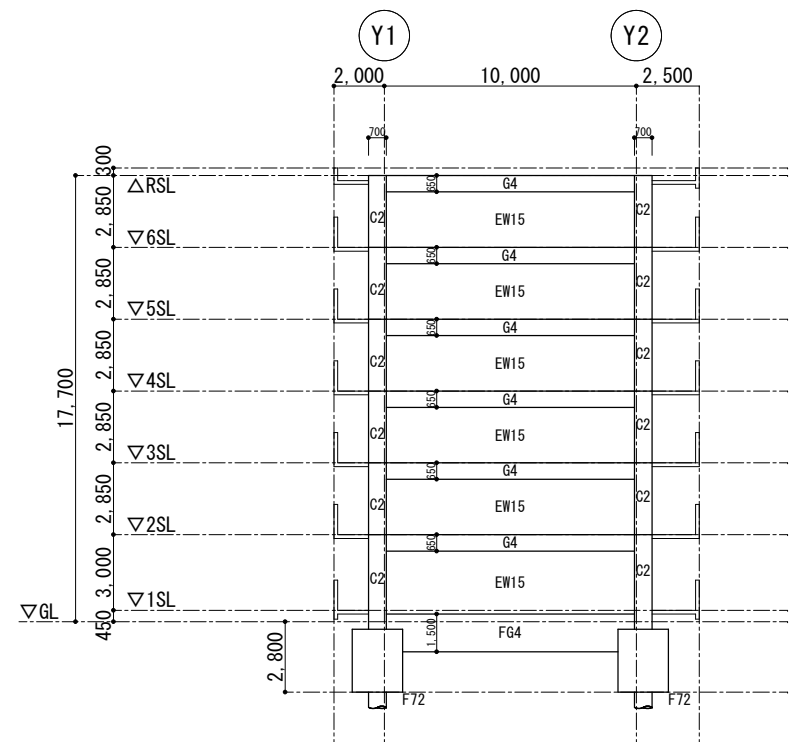
X1通り軸組図 縮尺 1/300



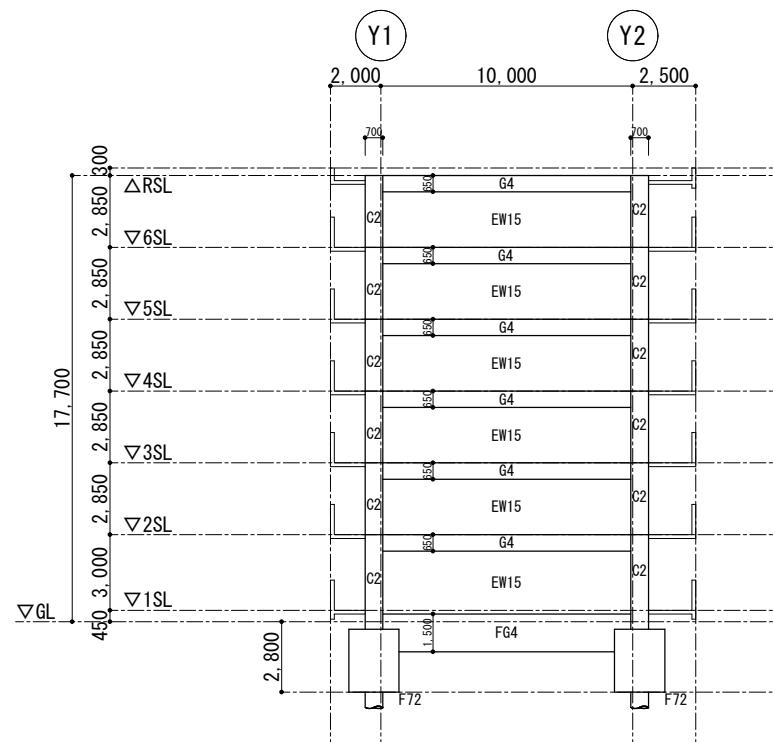
X2通り軸組図 縮尺 1/300



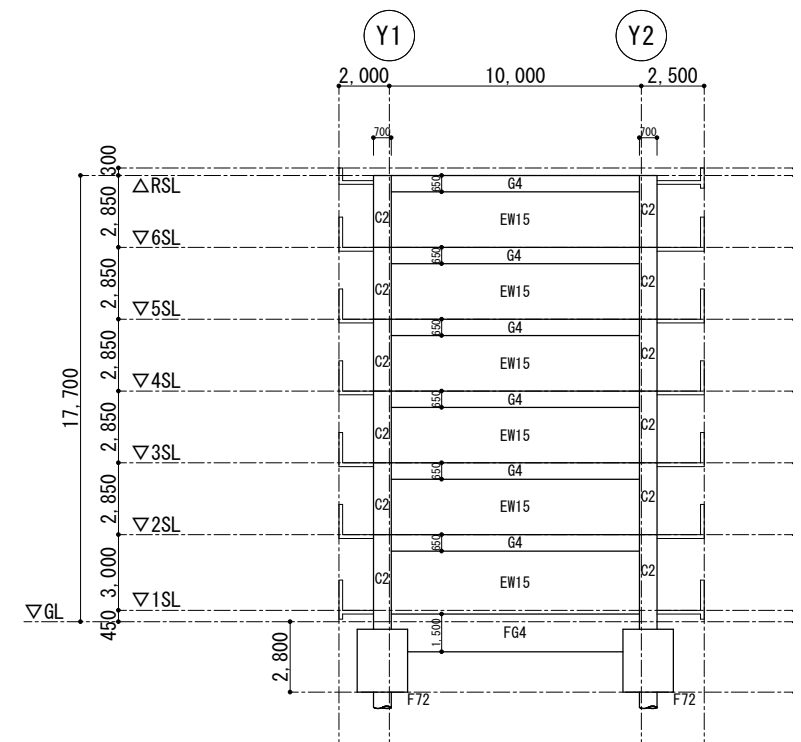
X3通り軸組図 縮尺 1/300



X4通り軸組図 縮尺 1/300



X5通り軸組図 縮尺 1/300

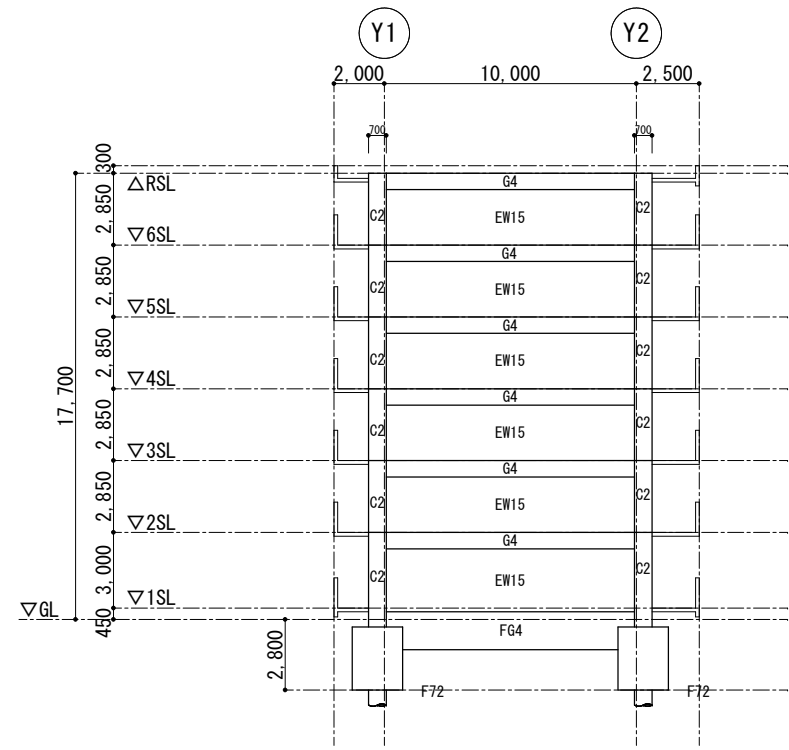


X6通り軸組図 縮尺 1/300

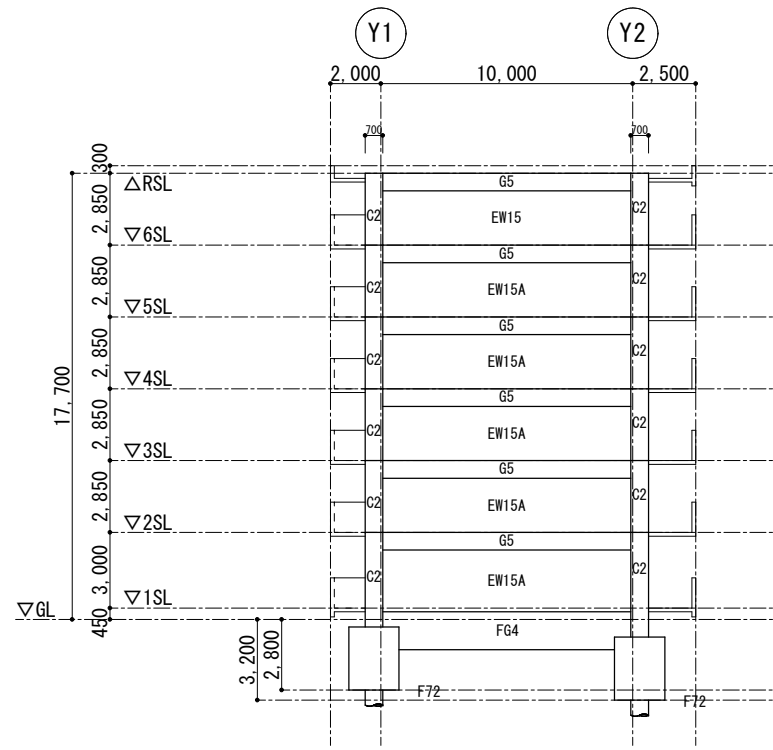
特記なき場合
 ・壁はW15とする
 凡例
 ・▲ 構造材を示す

一級建築士事務所 有限会社アゴラエンジニアリング
 一級建築士事務所第184-1247号 一級建築士第178301号 安里 和歌
 構造設計一級建築士第4913号 安里 和歌
 那覇市泊2丁目6番地1 泊隣ビル 三階
 TEL:098-866-3339 FAX:098-866-1478 MAIL:agora@nirai.ne.jp

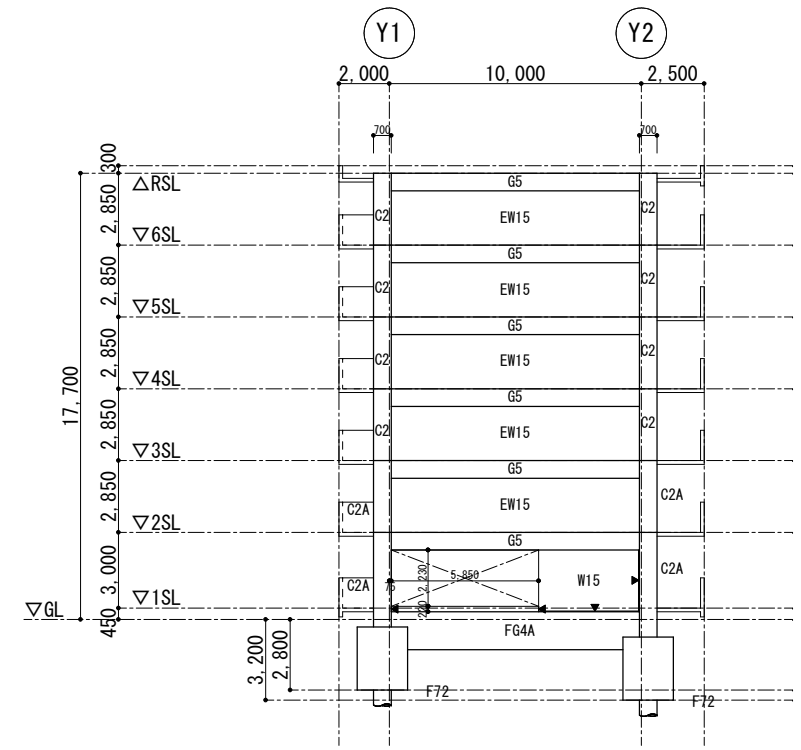
工事名称	(仮称) 公社赤道都市再生住宅整備工事 (建築)	工事年度	令和1年度	
工事場所	うるま市赤道972番51、929番11	図面名称	軸組図(2)	
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	A1=1:150 A3=1:300	
適用		図面番号	S-11	
検印	管理建築士	設計	製図	
	設計者	資格者氏名	(株) かみもり設計	
	登録番号	比嘉 豊 第305084号		
	所在地	第103-478号		
			所在地	沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号



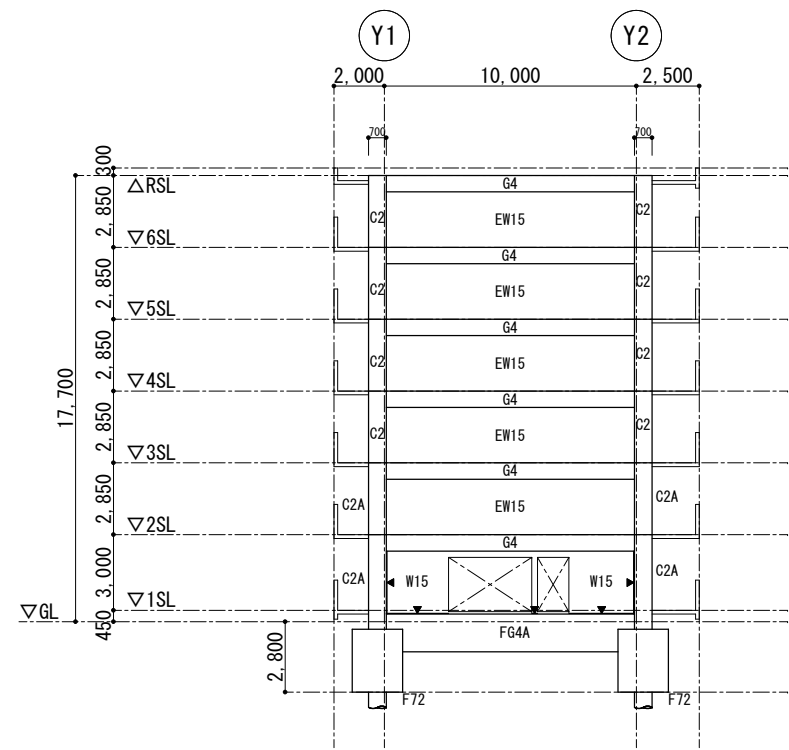
X7通り軸組図 縮尺 1/300



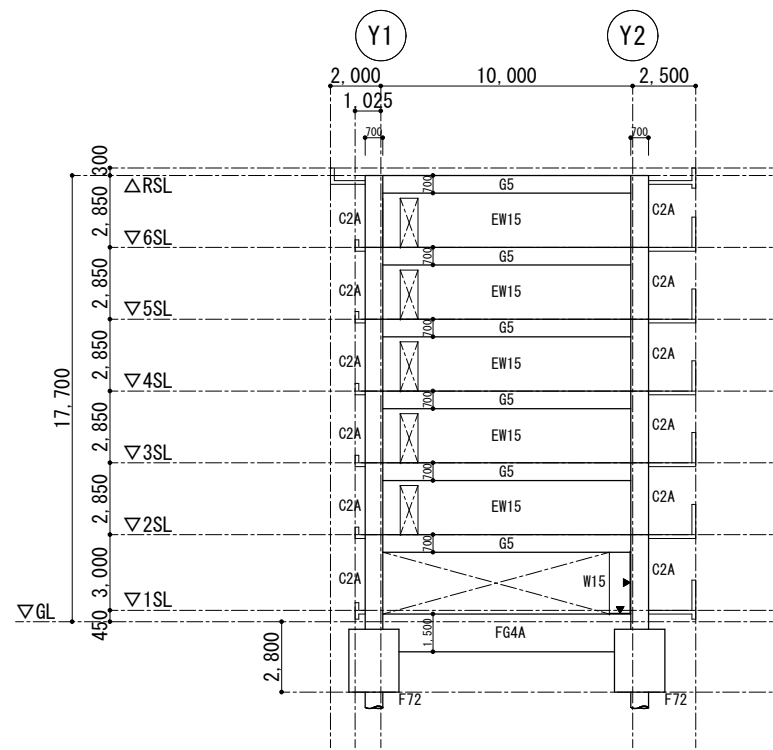
X8通り軸組図 縮尺 1/300



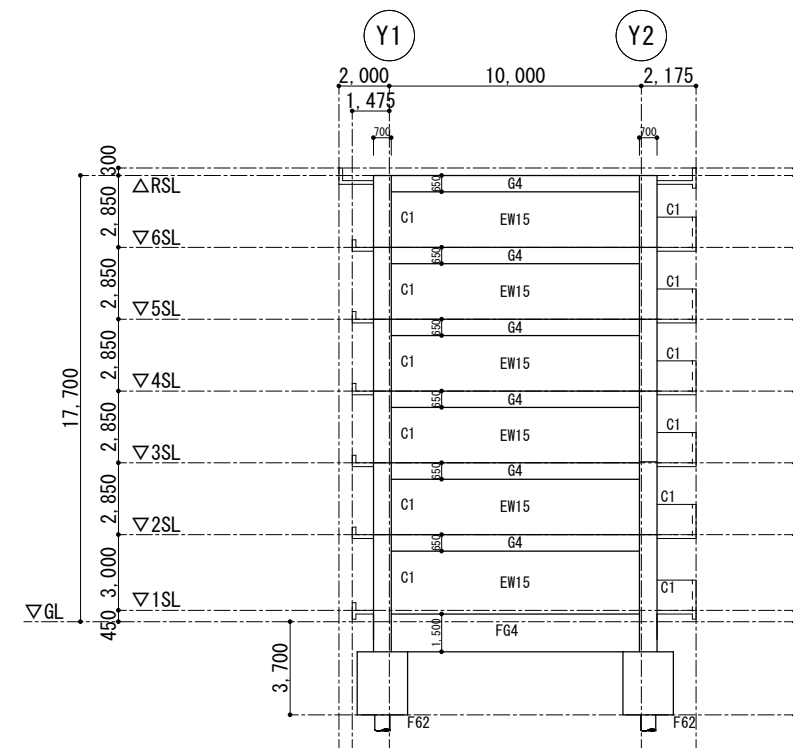
X9通り軸組図 縮尺 1/300



X10通り軸組図 縮尺 1/300



X11通り軸組図 縮尺 1/300



X12通り軸組図 縮尺 1/300

特記なき場合

- ・壁はW15とする

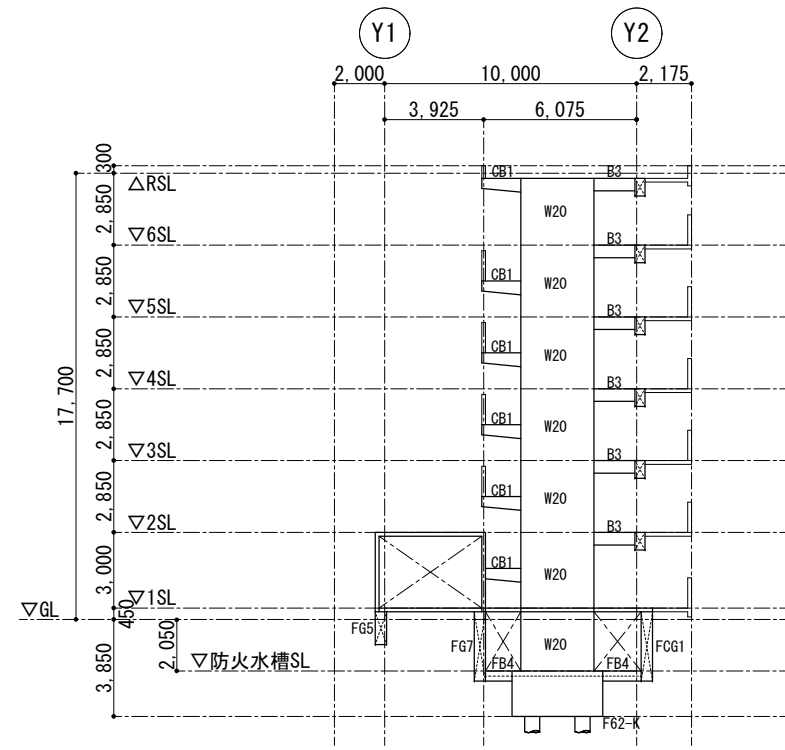
凡例

- ・ 構造リフトを示す

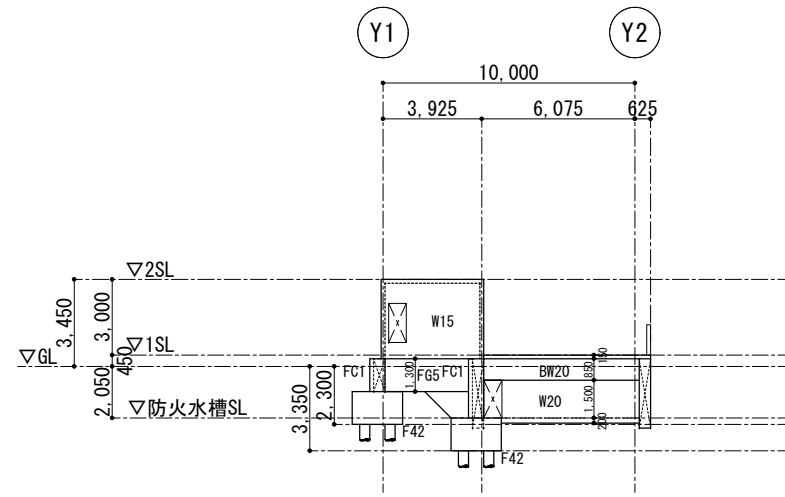


一級建築士事務所 有限会社アゴラエンジニアリング
 一級建築士事務所第184-1247号 一級建築士第178301号 安里 和敬
 構造設計一級建築士第4913号 安里 和敬
 那覇市泊2丁目6番地1 泊隣ビル 3階
 TEL:098-866-3339 FAX:098-866-1478 MAIL:agora@nirai.ne.jp

工事名称	(仮称) 公社赤道都市再生住宅整備工事 (建築)	工事年度	令和1年度
工事場所	うるま市赤道972番51、929番11	図面名称	軸組図(3)
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	A1=1:150 A3=1:300
適用		図面番号	S-12
管理建築士	設計	製図	名称 (株)かみもり設計
検印			資格者氏名 比嘉 豊 第305084号
			登録番号 第103-478号
			所在地 沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号



X 1-1500通り軸組図 縮尺 1/300



X 1-3000通り軸組図 縮尺 1/300

特記なき場合

- ・壁はW15とする

凡例

- ・ ◀ ▶ 構造リフトを示す



一級建築士事務所 有限会社アゴラエンジニアリング
 一級建築士事務所第184-1247号 一級建築士第178301号 安里 和敏
 構造設計一級建築士第4913号 安里 和敏
 那覇市泊2丁目6番地1 泊隣ビル 三階
 TEL:098-866-3339 FAX:098-866-1478 MAIL:agora@nirai.ne.jp

工事名称	(仮称) 公社赤道都市再生住宅整備工事 (建築)	工事年度	令和1年度
工事場所	うるま市赤道972番51、929番11	図面名称	軸組図(4)
発注機関	沖縄県住宅供給公社	縮尺	A1=1:150 A3=1:300
適用		図面番号	S-13
検印	管理建築士	設計	製図
	名称 (株) かみもり設計		
	資格者氏名 比嘉 豊 第305084号		
	登録番号 第103-478号		
			所在地 沖縄県浦添市宮城6丁目6番9号